

第七十回 帝國議會衆議院 軍事救護法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十二年二月二十七日(土曜日)午後一時三十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 川島正次郎君

理事手代木隆吉君 理事八角 三郎君

堀内 良平君 岡田喜久治君

升田 憲元君 中村 又一君

石坂 豐一君 齋藤 直橋君

南條 徳男君 林 路一君

松本治一郎君 前田 幸作君

同日委員武知勇記君、添田敬一郎君、中崎

俊秀君、寺島權藏君、青木亮賢君及北勝太

郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ升田憲元君、

堀内良平君、齋藤直橋君、古藤増治郎君、

高木条太郎君及前田幸作君ヲ議長ニ於テ選

定セリ

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官兼内閣恩給局長 樋貝詮三君

社會局長官 廣瀬 久忠君

社會局部長 山崎 巖君

北海道廳長官 池田 清君

陸軍次官 梅津美治郎君

陸軍少將 山脇 正隆君

陸軍騎兵大佐 石本 寅三君

海軍次官 山本五十六君

海軍主計大佐 山本丑之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍事救護法中改正法律案(政府提出)

北海道舊土人保護法中改正法律案(政府提出)

提出)

○川島委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨

日ニ引續キマシテ北海道舊土人保護法中改

正法律案ニ關スル質疑ヲ繼續致シマス――

林路一君

○林委員 今回ノ改正案ハ大體從來要望セ

ラレテ居リマシタ所ノ、大部分ヲ取入レテ

アルノデアリマスカラ、其趣旨ハ適當ナモ

ノデアラウト考ヘテ居リマス、唯私ハ本法

ノ第四條乃至第七條ノ救護施設ヲ致シマス

ル、其費用ノ財源ニ供セラレル舊土人ノ共

有財産管理ニ付テ、二三御伺ヲ致シタイノ

デアリマス、共有財産ハ多ク土地デアラウ

ト思フノデアリマスガ、土地ノ管理及ビ其

收益ヲ圖リマスルコトハ、單ニ貸主ノ立場

デアリマスル共有財産管理者側ノミノ關係

ヲ考ヘルバカリデナク、其相手方デアアル貸

借人ノ利益ヲモ、保護シナケレバナラヌ事

情ガアルノデアリマスカラ、此土地ノ管理

ト云フコトハ中々容易ナコトデハナイト思

フノデアリマス、ソコデ先ヅ御伺シタイコ

トハ、現在ノ共有地ノ中デ都市ノ區域ニア

ルモノ、又ハ都市ノ近郊ニアリマスルモノ

デ、相當之ヲ金ニ換ヘルナラバ、巨額ナ金

ニ換ヘ得ルモノハ、之ヲ賣却致シマシテ、

有價證券等ニ換ヘテ管理スルコトガ簡便デ

ハナイカト思フノデアリマス、又其方が共

有財産ト致シマシテモ、利益デハナイカト

思フノデアリマスルガ、此點ニ付テハドウ

云フ工合ニ御考ニナッテ居ルノデアリマセ

ウカ

○池田政府委員 現ニ都市ニアアル共有地ト

シマシテハ旭川ニ約八十町歩ノ田畑、宅地

等ガアリマスルガ、之ヲ金ニ換ヘ、或ハ有

價證券ニスルナリ、若クハ金ヲ銀行ニ預ケ

ルナリスルコトハドウカト云フ御意見デア

リマスルガ、都會地ニ於ケル斯様ナ共有地

竝ニ都會ノ近郊ニアアル共有地ノ如キハ、其

都市ノ發展ニ從ッテ段々地價ガ騰ッテ參リマ

付託議案

軍事救護法中改正法律案(政府提出)
北海道舊土人保護法中改正法律案(政府提出)

ス、時ニ依ッテハ或ハ之ヲ賣却シテ寧ロ現

金ナリ、或ハ有價證券ニスル方が、有利デ

ヤナイカト思ハレルヤウナ時モアリマスル

ガ、併シ又其都市ノ發展ノ狀況ニ依ッテハ、

下ノ位地價ガ騰ッテ行クカ、將來ハ相當値上

リガアリサウダト云フヤウナ場合モアルノ

デアリマシテ、之ヲ一概ニ賣却シテ有價證

券ナリ現金ニスル方が宜イト云フ風ニハ論

ゼラレヌノデアリマスガ、唯旭川ノ今ノ八

十町歩ノ土地ニ付キマシテハ、管理ニ付テ

モ相當面倒デアリマスルシ、行クハ土地

地ノ狀況ヲ見テ是ガ換價シタ方が宜イ、又

土人保護ノ爲ニ結局此方が宜イト云フコト

ニナレバ、サウ云フ風ニ致シテ見タイト、

斯様ナ考ヘデ居ルノデアリマス、是モ將來

ノコトデアリマシテ、只今左様ナ考ヲ持ッテ

居ルヤウナ次第デアリマス

○林委員 旭川市ニアリマスル八十町歩ノ

共有地ニ付テハ、只今モ北海道長官ノ仰セ

ノ通りニ、賃借人トノ關係ガ大分厄介ノヤ

ウデアリマス、隨テ此賃借人トノ關係ニ付

テ、當局ノ今日御考ヘニナッテ居ル點ヲ伺ヒ

タイノデアリマスルガ、第一ニアノ共有地

ハ、元現在賃借致シテ居リマスル者ガ、未開草莽ノ地ヲ開拓シテ來タノデアリマス、然ラザレバ開拓サレタモノヲ、相當巨額ノ權利金ヲ支拂ッテ、賃借權ヲ得テ居ルノデアリマス、隨テ現在ノ賃借人ハ、其權利ヲ相當ニ認メテヤラナケレバナラヌ、茲ニ一方ニ於テハ地價ノ値上リニ依ル利益ヲ收メヨウトスル爲ニモ、亦年々收益ヲ増加セシムル爲ニモ、當局トシテハ非常ナ御苦心ガアラウト思フノデアリマス、固ヨリ舊土人保護ノ目的ノ爲ノ共有地デアリマスルカラ、之ヲ有利ニ處分シ、有利ニ使用收益スルト云フコトガ、其主ナル目的デアリマスケレドモ、其目的ヲ達スルコトニ急ナルガ爲ニ、相手方デアアル現在ノ賃借人ニ對シテ、大ナル不安ヲ與ヘルト云フコトデアッテハナラヌノデアリマス、隨テ此農耕地トシテ賃借致シテ居リマスル此關係ハ舊土人保護ナルガ故ニ、特ニ賃借人ノ立場ヲ不利ナラシメルヤウナ管理ノ方法ヲ執ラレタノデハ、其賃借人ハ洵ニ窮境ニ立ツノデアリマスルカラ、此點ノ調和ヲ十分御考ヲ願ヒタイノデアリマス、ソコデ伺ヒタイコトハ、アノハ十町歩ノ共有地ノ賃借權ト云フモノガ、今日迄相當ノ價格デ賣買取引セラレテ居ッタト云フ其實實ヲ御認メニナッテ居リマスル

カドウカ、此點ヲ御伺シタイノデアリマス
○池田政府委員 御答致シマス、御話ノ通リアノ旭川ノ八十町歩ノ賃借人ハ、未開ノ土地ヲ開イタ者モアリマスルシ、又開イタ土地ヲ高ク讓受ケテ借りタ者モアリマスルシ、之ニ付テハ右様ノ次第デアリマスカラ、管理者タル道廳ニ於テモ其賃借人ノ立場利益ニ付テハ十分ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、其爲ニアノ八十町歩ノ畑ナリ、或ハ田ナリ宅地ナリ、是等ノ貸賃ハ周圍ノ土地ニ較ベテ餘程安ク致シテアリマス、是ハ全ク賃借人ノ今迄ノ事態ヲ考慮シテ結果デアリマシテ、最後ニ御話ノ權利ノ賣買ガ行ハレタト云フコトハ認メテ居リマス、隨テ之ニ關シテハ將來是等ノ土地ニ付テ處置ヲスル際ニ同様考慮シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス
○林委員 最近此共有地ノ賃賃料ヲ三割値上ラセラレタサウデアリマス、其値上ヲスルコトノ適否ハ私知ル所デアリマセヌガ、凡ソ農耕地ノ賃賃料ヲ値上スル場合ニ、單ニ一方的ノ見地カラ之ヲ斷行シマスルト、ソコニ色々紛争ガ起ルノデアリマス、適當ノ機關ヲ設ケ或ハ耕作者ノ意見ヲ聽ク等ノ方法ニ依リマシテ、圓滿ニ値上ヲ遂行スルト云フ途ガアラウト思ヒマスルガ、唯道

廳當局ノ御認定ニ依ッテ、サウシテ常ニ賃賃料ハ値上ラセラル、虞ガアル、殊ニ旭川市ノ發達ニ連レテ、其區域内ニアリマスル農業地ハ、一般ニ値上ノ傾向ニ置カレルノデアリマスカラ、此共有地ハ先ヅ其運命ヲ脫スル譯ニ參リマセヌガ、併シ其値上ニ於キマシテハ、耕作者ノ大ナル怨嗟ノ聲ヲ聞カヌヤウニシテ戴キタイト思フノデス、此値上ガ如何ニモ一方的ノ認定ニ基クモノデアルト云フ一例トシテ申上ゲタイノデアリマシガ、開ク所ニ依ルト、農耕地ノ中ニ農業上必要ナル建物ヲ建テ、居ル、及ビ其住宅ヲ建テ、居ル、即チ農家ノ住宅及ビ其附屬建物、サウ云フ建物ノ存在致シテ居リマスル所ヲ宅地トシテ、恰モ市街宅地ノ如ク月賃、即チ毎月坪ニ付テ幾ラト云フヤウナ計算デ賃料ノ更正ラセラレタト云フコトデアリマスガ、斯様ナヤリ方ト云フモノハ、殆ド農業地ノ小作料ヲ下ゲマス場合ニ其例ヲ見ナイ所デアリマシテ、多クハ農業用ノ建物及ビ住宅ノ建ッテ居リマス所デハ、北海道ニ於テハ畑ト同様ナ賃賃料ヲ取ル、是ガ一般ノ慣習デアリマス、然ルニ特ニ此處ダケハ宅地ノ賃賃料ヲ取ラレテ居ル、是ハ北海道ノ農地ノ賃賃ノ慣習カラ離レテ居ルモノデアリマシテ、特ニ目立ツノデアリマス、又見

様ニ依ッテハ如何ニモソレハ小作者ニ對シテ苛酷デハナイカ、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、此點ニ付テモ十分御考慮願ヒタイノデアリマスガ、之ニ付テハ別段御答辯ヲ求メマセヌ
 次ニ伺ヒタイコトハ、道路其他公益上ノ必要ニ依ッテ賃賃地ノ引上ヲ致シマス場合ニ、無償ヲ以テ引上ゲテ居ラレル、無論其公益事業ガ地元ノ市ニ於テ費用ヲ負擔致シマスル仕事デアラナラバ、其市ガ費用即チ土地引上ノ補償ヲ致シマセヌ爲ニ、貸主デアリマス所ノ共有財産管理者トシテハ、無論補償ノ財源ガナイト云フコトニナルノデアリマセウガ、併ナガラ農民ガ其耕作地ヲ假令公益上ノ必要ニ依ルトハ言ヘ、無償ヲ以テ引上ゲラレル、何時デモ引上ゲラレルト云フ所ニ非常ナ不安ガアルノデアリマス、隨テ公益上ノ必要ガアル場合ト雖モ、其公益事業ヲ營ミマスルモノガ、斯様ナ場合ニアッテハ、相當ノ費用ヲ負擔ヲサセテ、ソレヲ以テ即チ耕作者ニ補償ヲシテヤルト云フコトガ適當デハナイカト思フノデアリマス、是ハ此法案トハ直接ノ關係ハゴザイマセヌガ、政府ヨリ本議會ニ提出サレデアリマスル農地法案、此法案ガ通過シ成立スルカドウカト云フコトハマダ分リマセヌ

ガ、此農地法案が成立致シマシタ曉ニ於テハ、舊土人保護法ニ依ル共有財産ト雖モ、ヤハリ此農地法ノ支配ヲ受ケルコトニナルト思フノデアリマス、農地法ニハ明ニ土地ノ引上ヲ爲ス場合ニ於テハ其地上權或ハ作株ト申シマスカ、其權利ニ對シテ相當ノ補償ヲシナケレバナラヌト云フコトガ明ニ規定サレテアルノデアリマス、隨テ今日以後假令公益上ノ必要ニ依ッテ引上ヲ致シマス場合ニ於テモ、相當ノ補償ヲ爲スベキモノデアルト云フ工合ニ、此共有財産ニ付テモ御考ニナルコトガ適當デハナイカト思フノデアリマスルガ、之ニ付テノ御考ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○池田政府委員 借地ノ値上ヲ一方的ニスルト云フコトハ、怨嗟ノ聲方起ルノデ、左様ナコトハ困ルト云フヤウナ意味ノ御話デアリマス、是ハ慎重ニ協議ヲシテ決メタノデアリマス、御承知ノ通りアノ共有財産ノ管理ニ付キマシテハ、道長官ガ責任ヲ以テヤッテ居ルノデアリマスガ、此管理ノ方法ト致シマシテハ、重要ナ事項ニ付テハ旭川市長、稅務監督局長、方面委員、ソレカラ「アイヌ」ノ學者、ソレカラ共有地ノ地主、ソレカラ土人ノ代表者デテ委員會ヲ組織シ、之ニ重要ナ事項ヲ諮問ヲシテ決メルト云フ

コトニナッテ居ルノデアリマス、此度ノ値上ニ付テモ、ヤハリ此委員會ニ諮問ヲシテ、是ガ適當デアルト云フコトデ決定致シタコトヲ通知ヲ致シタヤウナ次第デアリマシテ、普通ノ意味ノ一方的ニ決定ヲスルト云フノデアリマセヌ、斯様ナ色々ナ方面ノ人ノ意見ヲ聽イテ、而モ關係方面ノ人達ノ意見モ聽イテ居ルヤウナ次第デアリマス、若シ怨嗟ノ聲ガアルトスルナラバ、ソレハ考ヘ違ヒヲシテ居ル向デハナイカト、斯様ニ思フノデアリマス、併ナガラ實行ニ當ッテハ、出來ルダケ左様ナ聲ノナイヤウニ致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○池田政府委員 借地ノ無償デ引上ゲルルカラ、洵ニ困ルト云フヤウナ御話デアリマスルガ、是ハ從來モ屢行ハレ、北海道ノ特殊事情トシテ實施致シテ來タヤウナ次第デアリマス、殊ニ此土地ハ共有地デアリマスルカラ、其土地並ニ附近ノ者ノ用ニ供サレ、所謂公共ノ用ニ供サレル道路ヲ造ルニ當ッテハ、無償デモ亦是レ已ムヲ得ナイカトモ思フノデアリマス、唯是ガ財源ノ餘裕ガアッテ、補償ガ出來レバ洵ニ結構ト思フノデアリマスガ、御承知ノヤウナ状態デアリマ

シテ、到底補償ヲ致スト云フコトハ出來ナイカト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、御承知ヲ願ヒマス

○林委員 只今ノ御答ノ中ノ賃貸料ヲ値上セラレマシタ其方法、手續ニ付テハ、其通りデアリトスルナラバ、之ニ對シテ怨嗟ノ聲ヲ放ツト云フコトガ間違ッテ居ルト思フノデアリマスガ、併シ今申上ゲマシタヤウニ、農家ノ宅地ノ賃貸料ヲ市街ノ宅地ノ如ク、坪幾ラデ取立テルト云フヤウナコトハ、是ハ都市ノ區域内ニアリマスルカラ左様ナ査定ヲセラレルノデアリマセウケレドモ、是等一般ノ農業地ニ對スル考ヘ方ト非常ニ懸ケ離レテ居ルノデアリマスルカラ、今後是等ノ點ニ付テハ相當御考慮ヲ願ヒタイトデアリマス、公益上ノ必要ニ依ッテ賃貸地ノ引上ヲ致ス場合ノ補償ニ付テハ、從來ノ北海道ノヤリ方ハ無償ト云フコトガ殆ド原則ニナッテ居リマス、併ナガラ今日ノ時代ハ、農地法ト云フモノ、施行ヲ必要トスル時代ニ相成ッテ居リマスルカラシテ、隨テ無償ヲ以テ耕作地ヲ取上ゲルト云フヤウナコトハ一番農家ニ取ッテ不安ナコトデアリマスルカラ、之ニ付テハ今日迄ノ經過ハ如何ニアリマセウトモ、今後ハ特ニ一ツ御考慮ヲ願ッテ置キタイト思フノデアリマス、私ノ質問

ハ是デ終リマス

○川島委員長 北海道舊土人保護法中改正法案ニ關シマシテハ別ニ質疑ノ御通告ガアリマセヌカラ此程度デ之ヲ打切ルコトニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○川島委員長 質問ハ終了シタモノト認メマス

次ハ軍事救護法中改正法案ニ關スル質疑ニ移リマス——中村君

○中村委員 極ク簡單ニ陸軍當局ニ御尋致シタイト思ヒマス、此軍事救護法ト云フノガ今回扶助法ト云フ名稱ニ御訂正ヲナサッテ居ルヤウデゴザイマスガ、根本問題ノ見解ニ關スル御尋ト致シマシテ、此軍事扶助法ナルモノハ、恩給ノ性質ヲ持ッテ居ルモノデアルカドウカ、普通社會局ガ取扱ッテ居レルヤウナ、單ナル社會政策的ノ意味合ニ於ケル即チ救護事業ノ性質ヲ持ツモノデアルカドウカ、此根本問題ヲ先ヅ御伺致シマス

○廣瀨政府委員 社會局カラ一應御答辯申上ゲマス、只今ノ扶助ト云フ文字ヲ用ヒタニ付テ、此軍事扶助法ニ依ル支出ガ恩給ノ性質ヲ持ツカドウカト云フ御質問デゴザイマスガ、此軍事扶助法ニ依リマス支出ハ、

恩給ノ性質ハ持チマセヌ、ヤハリ社會政策
的ノ扶助ト申シマスカ、或ハ從來ノ所謂救
護ノ性質ヲ持ッテ居リマシテ、恩給ノ性質ハ
持タナイノデアリマス

○中村委員 サウ致シマス、救護ト云フ
文字ヲ扶助ト云フ日本ノ恩給法ノ文字ヲ借
用シタヤウナ文字ニ御訂正ニナツタ意味ガ、
私ニハ理解出來ナイノデアリマスガ、此案
ノ内容の事實ヲ觀察致シテ見マシテモ、又
此軍事救護法中改正法律案要綱ト云フ、即
チ此説明書ヲ一覽サセテ戴キマシテモ、此
救護ト云フモノガ——扶助ト云フモノガ、

私ニハドウシテモ社會局長官ノ御説明ノヤ
ウニ、一般ノ社會政策の見解ニ基ク救護ノ
性質ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ全體的ニ御
認メガ出來ナイ感ジガ致スノデアリマス、
ソコデ軍當局ニ御伺フ致シマスガ、斯ル軍
事の關係ニ於テ救護ト申シマスカ、扶助ト
申シマスカ、即チ此救護ヲ爲サナケレバナ
ラヌト云フ事實ニ對シマシテ、一社會局ノ
管轄ニ之ヲ委ネテ、唯普通ノ貧困者トデモ申
シマスカ、社會一般ノ生活無能力者ニ對ス
ル所ノ救護方法ヲ講ズルト云フガ如キ取扱
ニ一任セラレテ、此軍ノ爲ニ救護ヲ受ケナ
ケレバナラヌト云フ事情ニ立至ッタ人間ノ
取扱ニ對スル立場ニ對シテ妥當ト云フ御見

解デアリマスカドウカ、此點ヲ御伺致シタ
イト思ヒマス

○梅津政府委員 軍事上特ニ扶助ヲ要スベ
キ所ノ事業ヲ一社會局ノ管掌ニ委ネルト云
フ、只今御言葉デゴザイマシタガ、是ハ決
シテ一社會局ノ管掌ニ委ネルト云フ積リデ
ハナイノデゴザイマスガ、此扶助事業ハ一
般ノ救護事業ト同ジヤウニ當然是ハ内務省
ノ所管ニ屬スベキモノデアアルノデゴザイマ
シテ、軍トシテモ是等ニ對シテハ多大ノ關
心ヲ持ッテ居リマスカラ、軍事當局トシテ
ハ、内務當局ト緊密ニ連絡ヲ致シマシテ、
此扶助ノ實績ヲ十分ニ擧ゲルヤウニ、又完
璧ヲ期スルヤウニ努メテ居ルノデゴザイマ
ス

○中村委員 サウ致シマス、此説明書
ノ要項中イノ途中ヨリ「應召中ニ傷痍ヲ受
ケ若ハ疾病ニ罹リ一種以上ノ兵役ヲ免除セ
ラレタル者及其ノ家族、遺族ヲモ扶助ス
ルコト」ト云フ此文句ノ上カラ考ヘテ見マ
シテモ、恩給法ノ受恩給資格者ノ立場ト、
此文言ニ現レテ居ル所ノ資格トノ立場ト云
フモノガ、殆ド紙一重ノヤウナ感ジヲ致ス
ノデアリマスガ、其紙一重ノ相違ノ爲ニ、
一人ハ國家ノ恩給事業ノ立場ヲ獲得シ、一
人ハ内務省所管ニ基ク所ノ社會政策的ナ貧

困救濟ノ取扱ヲ受クルト云フガ如キ事實ニ
立到ルト思ヒマスガ、所謂此性質ハドウ云
フ區別ニ於テ、軍當局トシテハ、キリト其觀
念ガ——内務省所管ニスルト云フ其立場ト、
恩給ト云フ立場ニ於テ參ラナケレバナラヌ
ト云フ一方ノ考ヘ方トノ間ニ、其區別ノ截
然タル所ヲ御説明願ヒタイモノダト思フノ
デアリマス

○廣瀨政府委員 此社會局所管ノ軍事扶助
法ニ依リマスル扶助ニ付キマシテハ、恩給
ト違ヒマシテ、恩給ノ方ハ軍人ノ權利ト云
フコトニナル譯デアリマスガ、此扶助法ニ
依ル方ハ、國家ノ扶助ノ一ツノ義務ニハ見
テ居リマスガ、此扶助ヲ受クルノ權利ト云
フヤウナ工合ニ見テ居ラヌノデアリマス、
其處ニ違ヒガアルト思ヒマス、從來救護法
時代ニ於テモ、ソレト同ジヤウニ取扱ッテ
居ッタノデアリマシテ、今回名前ヲ扶助ト改
メマシタケレドモ、其處ニハ何等ノ前カラ
ノ差別ハアリマセヌ、扶助ト云フ文字ヲ用
ヒタニ付キマシテ、尙ホ私共ノ説明ガ或ハ
不十分デアアルカモ知レマセヌカラ、モウ一
度此機會ニ申上ゲテ御諒解ヲ願ヒタイト思
ヒマス、從來ハ御承知ノヤウニ、救護ト云
フ文字ヲ用ヒテ居ッタノデアリマスガ、御承
知ノヤウニ一般ノ救護法ト云フモノガゴザ

イマス、ソレデ軍事救護法ト云フ文字ヲ用
ヒマス、ドウモ貧民救濟ト云フヤウナ意
味ガ非常ニ強クナツテ、適當デナイ、ヤハリ
軍事救護ト申シテ居リマシテモ、從來ヤハ
リ其軍事救護法ノ趣旨ハ貧民ノ救濟ト云フ
コトデハナクシテ、軍人ヲシテ後顧ノ憂ヒ
ナク軍務ニ服セシムル爲ニ、此支出ヲスル
ト云フノデアリマシテ、貧民ノ救護ト云フ
ヤウナ意味デハナカッタノデアリマス、然ル
ニ一般救護法ト同ジ文字ヲ用ヒテ居リマス
ノデ、ドウモソレハ適當デナイ、此點ニ付
キマシテハ、從來議會等ニ於テモ屢、御意見
ガアリマシタ、救護ト云フ文字ハ適當デナ
イト云フ御意見ガアツタノデアリマス、ソコ
デ當局ト致シマシテモ、ドウモ救護ト云フ
文字ハ適當デナイカラ、何トカ改メヨウト
云フノデ、色々研究ヲ致シテ居リマシタ、
所ガ從來此軍事ニ關スル色々後援團體ナ
ドガヤハリ一緒ニナリマシテ、軍事扶助團
體ト云フヤウナ名前ヲ用ヒタリ、又軍事扶
助事業ト云フヤウナ文字ヲ用ヒルヤウナ慣
例モ相當アリマスノデ、此扶助ト云フ文字
ハドウカト云フコトデ、攻究ヲ致シマシタ、
サウシテ昨年内務省ニ社會事業調査會ト云
フモノヲ内務大臣ノ下ニ開キマシテ、此社
會事業調査會ニハ軍當局ノ方々ニモ御出席

ヲ願ヒ、サウシテ色々研究シタ結果、或ハ保護ト云フ文字ハドウカト云フ御意見モアリマシタ、併シ保護ト云フ文字ハドウモ軍機保護法ナドト混雜ニモナリマスシ、ヤハリ扶助ト云フ文字ガ適當デアラウト云フ社會事業調査會ノ御意見ヲモ得マシタノデ、ソコデ扶助ト云フ文字ヲ用ヒタノデアリマス、根本精神ハ何處マデモ此軍務ニ服スル軍人ヲシテ後顧ノ憂ヒナカラシムルヤウニスル、其爲ノ支出デアアル、斯ウ云フコトデアリマス、此點ヲ一ツ御諒知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中村委員 諄イヤウデアリマスガ、此恩給法ノ規定カラ眺メテミマシテモ、例ヘバ恩給法ノ四十八條等ニ公務員ト云フモノニ付テ規定シマシテ、公務員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルモノト看做ス、一、勅令ヲ以テ指定スル地域ニ在勤中其ノ地ニ於テ流行病ニ罹リタルトキ、二、戦地ニ於テ又ハ公務旅行中流行病ニ罹リタルトキト云フヤウナ規定ガアルノデアリマスガ、此軍事救護法中ノ先程讀ミマシタ「應召中ニ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ一種以上ノ兵役ヲ免除セラレタル者及其ノ家族、遺族ヲモ扶助スルコト」ト云フヤウナ文字ヲ對照シテ見マ

スルト、一方ニ於テ、只今ノ政府委員ノ御説明ノ言葉ヲ拜借致シマスルト、此恩給ニ該當スルモノハ、恩給ト云フ權利ヲ生ズルノデアアル、併シ此扶助法ニ基ク所ノ資格ト云フモノハ、國家ガ之ヲ扶助スルノ義務ヲ負フコト、ナッテ、權利ト云フモノトハ立場ガ違フト云フヤウナ御説明デアリマシタガ、唯此文字ノ對照カラ見マスルト云フト、殆ド恩給ヲ貰フ資格者トナル所ノ條件ト、此扶助法ニ基カナケレバナラヌト云フ資格者ノ立場ト云フモノガ、殆ド紙一枚ノヤウニ考ヘラレルノデゴザイマスルガ、是デモ軍當局ニ於カレテハ此軍事救護法ニ適用サル、所ノ、茲ニ説明サレテ居リマスル所ノ此「イ」ノ場合ニ於ケル人達ニ對シマシテ、何處迄デモ恩給ト云フ有難イ國家ノ恩惠制度ノ適用ヲ受ケサスルト云フ御研究ハ御持チデナイノデアリマセウカ、此軍事救護法ト云フ從來ノ御取扱ニ於テ何處マデモオヤリニナル御方針デアリマセウカ、一寸御尋致シテ置キマス

○梅津政府委員 恩給ヲ受ケル資格ノアル者ハ、何處マデモ是ハ恩給法ノ權利ヲ得サセルト云フコトニ行カナケレバナラヌト思フノデゴザイマスルガ、結局恩給ノ資格ノアル者ト、資格ノナイ者デソレニ近イ者ト

ノ差ト云フモノハ、所謂紙一重ナノデアリマス、御説ノ通り是ハ結局紙一重ノ所ガ出來ルノハ仕方ガナイト思フ、是ハ何等カ出來ル限リ國家デ扶助シテ行カナケレバナラヌ、兵役義務者等ヲ出來ルダケ保護スルト云フ趣旨ヲ此扶助法デ、詰リ恩給法デ救助シ得ナイ所ノ者ヲ救フト云フ意味合デ出來テ居ルノデゴザイマスカラ、其精神ヲ十分御諒察ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中村委員 只今軍部ノ政府委員ハ紙一重ト云フ御言葉ヲ御使ヒニナリマシタガ、一般恩給ノ如キニ於キマシテハ、一定年限ノ到達ニ依リマシテ恩給ト云フモノガ出來上ルノデアリマス、例ヘバ最近ニ於キマシテ、新聞紙ナドデ御記憶ニ新タデアリマスルヤウニ、廣田内閣ガ二月一日マデ續ケバ、廣田サンハ總理大臣ノ恩給ガ取レタノデアルト云フガ如ク、一定ノ年限奉公ニ依ッテ、其日ニチガ來ルト云フト、總理大臣ノ恩給モ取レルト云フ仕組ニナッテ居ル、然ルニ本件ノ軍事救護法ノ適用範圍ノ説明ノ「イ」ナドデ見マスルト、而モ其コトハ應召中ニ行ハレタル傷痍、或ハ應召中ニ不幸ニシテ罹ッタ所ノ病ニ依ッテ、兵役ヲ免除セラレルノ立場ニナッタト云フ其人ニ對シマシテ、一方ニ此軍事救護法ノ手ヲ以テ之ヲ救

濟スルト云フヤウナ方法ガ、根本ニ於テ私ハ適切デアアルカドウカト云フコトヲ、今一度軍當局ニ御伺ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス

○梅津政府委員 只今ノ、先刻カラノ御尋ノ件ハ是ハ公務ニ基因シテ起ッタ者ニ付テハ恩給法ノ適用ガ出來ル、恩給法ノ適用ノ出來ナイ所ノ者ヲ何トカシテ助ケテ行クト云フ意味合デゴザイマスノデ、適用ノ出來ル者ハ恩給法ニ依ッテ當然是ハ權利ヲ得サセルト云フ趣旨ニハ變リハナイノデアリマス

○中村委員 サウ致シマス云フト、一方ニ於テ恩給ヲ受ケ得ル資格ノアル者ニ於テハ恩給ヲ給與スルト同時ニ、其恩給ヲ受給シテ居ル所ノ人ガ尙且自己ノ貧困ヨリ家族ヲ養フノ實力ナシト云フヤウナ場合ニ於テハ、其恩給ヲ受ケツ、其家族ノ生活ヲ此扶助法ニ基イテ救濟シテ行クト云フ其趣旨ト承ッテ宜シウゴザイマスガ、又更ニ此文字ニ現ハレテ居リマス所ノ家族及ビ遺族ト云フ範圍、「イ」ノ場合ヲオ尋致シマス

○廣瀨政府委員 御質問ノ第一點ニ付テ御答申シマスガ、軍事扶助法ニ於テハ、恩給法ノ恩給ヲ受ケテ居ル者デモ其者ガ生活ニ困リマスレバ、之ヲ扶助スルト云フ立前デ

アリマス、モウ一度申上げマスガ、軍事扶助法ハ恩給法ノ規定ニ依リマシテ恩給ヲ貰ッテ居ル者デアリマシテモ、其者が生活ニ困リマスレバ、ソレハ軍事扶助法ニ依ッテ扶助ヲスルト云フ立前ニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ家族、遺族ノ範圍ニ付テノ御尋デアリマシタガ、是ハ從來ハ傷病兵ノ同一ノ家、同じ戸籍ニ屬シテ居ラナケレバイケナカッタノデアリマスガ、今回ハ其範圍ヲ擴メマシテ、同じ戸籍ニ屬シテ居リマセヌデモ、同じ世帯ニ住ンデ居リマスル者、直系血族、兄弟姉妹ト云フヤウナ者ニマデ及ボスト云フ範圍ヲ擴メタノデアリマス

○中村委員 サウ致シマスルト云フト、此家族、遺族ト云フ者ガ擴張セラレタトノ御説明デアリマス、又此要項ヲ眺メテ見マスト、擴張セラレタト云フノガ直系血族又ハ兄弟姉妹、斯ウナッテ居ルノデゴザイマスルガ、此恩給法アタリノ家族ト申シマスカ、遺族ノ範圍ト云フヤウナモノハ、妻、未成年ノ子、夫——夫ハ此場合ハ必要デハアリマセヌ、是ハ兵隊ノ場合デスカラ、女ハ兵隊ニハ參リマセヌカラ……ソレカラ法律ノ恩給的ノ扶助料ノ場合デアリマセヌカラ、未成年ト云フ文字モ必要デアリマスマイ、妻、子、父、母、祖父、祖母、是ダケハドウシテ

モ御入レニナラナケレバ、私ハ擴張ノ意義ハ達セヌト思ヒマス、此案ヲ見テミマスト、擴張セラレタノガ直系血族又ハ兄弟姉妹トナッテ居ルノデアリマスガ、妻ハ第一直系血族デハナイノデアリマス、ソレカラ祖父、祖母ハ直系尊屬デハアリマスケレドモ、直系血族ト云フモノニ直チニ包含サレテ居ルカドウカト云フコトハ、甚ダ疑問デアアルノデアリマス、世ノ中ノ多クニ於キマシテハ、兄弟姉妹ニ擴張セラレテ居リマスガ、兄弟姉妹モ段々ニアルノデゴザイマシテ、法律ガソコマデモ手ヲ延バサナケレバナラヌカドウカ、一般法ノ概念カラ考ヘマシテ果テシガナイト私ハ思フノデアリマス、是ハドウシテモ救済スル所ノ擴張ヲシナケレバナラヌト云フ此本法ノ本質ヲ極メマサル時ニ於キマシテハ、先ヅ第一ニ父、母、祖父、祖母、斯ノ如キモノガ窮迫シタル所ノ事情ニ於テ、其兵役者ノ關係カラシテ生活ニ憐ミ、實ニ慘澹タル所ノ悲惨ノ境涯ニアルト致シマスレバ之ヲ先ヅ救済スル所ノ擴張ヲシナケレバ、本法ノ意義ハ達セヌト思フノデアリマスガ、此點ニ對シテ研究セラレテ居ルカドウカ、之ヲ御同致シタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 御質問ノ點ニ付キマシテ

ハ、此要項ノ方ニ書イテゴザイマセヌノデ、一寸法律ノ方ヲ御覽ヲ願フト云フト、配偶者並ニ子ニ付キマシテハ、改正前カラ入ッテ居ルノデアリマス、第三條ノ一ト云フ所ヲ御覽下サイマスト、配偶者及子供ノコトハ書イテゴザイマス、ソレカラ祖母、祖父等ハヤハリ三條ノ二號ノ方ニ「下士官兵又ハ傷病兵ニ依リ扶養ヲ受クヘキ者」ト云フ文字ノ中ニ、ヤハリ直系尊屬トシテ入ッテ居ルモノト斯ウ解釋致シテ居ルノデアリマス

○中村委員 解釋シテ居ル條文ハドレデゴザイマスカ
○廣瀨政府委員 第三條ノ二項デゴザイマス
○中村委員 此場合恩給局ノ方ハ……
○川島委員長 恩給局長ガ見エテ居リマス
○中村委員 是ハ無論本法ノ適用ノ運用上ノ御解釋ニ對シテモ不當ト思ハレマスカラ、此處デ御質問ヲ致シタイト思フノデアリマスルガ、是ハ實例デアアルノデアリマス、二個ノ實例ヲ以テ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマスルガ、一人ハ實際ノ事件トシテ私ノ手許ニ到著致シテ居ル所ノ問題デアアルノデアリマスルガ、日清戰役ノ時ニ

於キマシテ、二十六歳ヲ以テ未亡人トナリマシテ、其夫ハ日清戰役ニ於テ戰死ヲ致シタ所ノ所謂配偶者デアアルノデアリマス、其戰死者ヲ乙ト致シマスルト云フト、甲ト云フ兄貴ガ居ッタノデアリマシテ、其甲ト云フ兄貴ノ同一戸籍内ニ其乙ト云フ者が現在ノ未亡人トナッテ、七十幾歳ヲ以テ今尚ホ生キテ居リマス所ノ、即チ戰死シタ所ノ夫ノ乙、ソレガ戰爭當時同一戸籍ニアッタノデアリマス、ソレガ戰爭ニ出征スル當時、學校ノ小使ヲ致シテ居リマシタガ、從軍シマシテ戰死ヲ致シマシタ、其後此戰死者ニ對スル所ノ遺族トシテノ恩給ガ下ッタノデアリマス、所ガ何時ノ間ニカ此甲ト云フ戰死シタ乙ノ兄貴ガ、未亡人ニナッテ居ル人間ノ「同一戸籍ト云フコト」ヲ失ッタト云フノデ、最近ニナリマシテカラ、此恩給身分調査ト申シマスカ、恩給調査ト申シマスカ、アレガ始リマシテ——一昨年カ一昨年カ、最近ニ始マルヤウニナリマシテカラ、突如トシテオ前ハ十幾年分カ二十幾年カ恩給ヲ拂ッテ貰ッテ居ルケレドモ、オ前ハ資格ガ無カッタノデアアル、ソレヲ返還シロト云フコトヲ遞信省ノ恩給課カラ通知ガアリマシテ、ビツクリ致シマシタ結果、自分ノ夫ハ日清戰爭ニ

戦死シタニ相違ナイ、ソレト同時ニ自分ハ二十六歳カラ七十歳ノ今日マデ未亡人ヲ續ケテ、地方ニ於テモ戦死者未亡人ノ鑑トシテ自分ハ今日マデ生活ヲシテ來テ居ルノデアル、ソレ故ニ恩給局カラ今日オ前ハ恩給ガ實ハ無カッタノダト云フヤウニ指令ヲ受ケテ、今日金幾千圓トカノ返還マデモ迫ラレルヤウナ通知ガ來テ居ルガ、如何ナルノデアラウカト云フ事件ニ對スル依頼ガアッテ調査致シマシタ所ガ、只今此處デ述ベマシタ通りノ事實デアアルノデアリマス、サウ致シマスルト實際乙ト云フ者ノ妻デアリ、

其夫ガ戦死シタ場合ニ於テ、或ル一ツノ戸籍ニ居、タト云フヤウナ場合ニ於テ、其後甲ト云フ兄貴ガ勝手ニ乙ト云フ者ノ女房、可哀相ニ未亡人ニナッタ女房ノ其戸籍ヲ奪ッタ場合ニ於テ、恩給ハ剝奪サレテ居ルト云フ事實、之ヲ扶助料ノ場合ニ於テモ同一戸籍トカ、或ハ之ヲ擴張シテ同一世帯ニシタトカ仰シヤルノデアリマスガ、斯ウ云フ場合ニ於テノ御取扱ハ如何ニナサル方針デアリマセウカ、是ハ本件ノ場合ニ於キマシテモ、恩給局ノ御當局ガ居ラレマスレバ――

現實ノ問題ト致シマシテ、最近恩給局ニ私出頭シテ居、タコトガアリマスガ、此重大ナル問題ニ對シテ、ドウ云フ御見解ト對策ヲ御研究ニナッテ居ルカ、双方ヨリ私ハ御答辯ヲ承ッテ見タイト思フノデアリマス

○樋貝政府委員 恩給ニ關シマシテノ御質問ノ部分ニ付テ御答致シマスガ、今中村君ガ御舉ゲニナリマシタヤウナ事例ハ、實ハ昭和八年カラ以後相當數ガアリマス、今御舉ゲニナッタコトモ、今日恐ラク解決シテ居ルダラウト存ジマスガ、其點ドウナッテ居ルカ存ジマセヌガ、サウ云フヤウナ事例ハ餘程アリマス、能クサウ云フコトガアリマシテ、軍人ノ未亡人ダトカ、或ハ舅ガ之ライデメルトカ云フヤウナコトガアリマシテ、

知ラヌ間ニ、或ハ知ラヌ間デナクテモ、半強制的ニ籍ヲ取ッテシマフト云フヤウナコトガ能クアリマシタ、ソレハ御承知ノヤウニ、大正十二年マデハ理由ノ如何ヲ問ハズニ、尙モ離籍シタリ、或ハ分家ヲ致シマスルト、恩給權ハ喪失スル、扶助料ハ貰ヘナイト云フコトニナッテ居、タ、大正十二年ニ嫁イデメラスルトカ、未亡人イデメヲヤルコトハ宜シクナイト云フコトヲ認メマシテ、是ハ中村君能ク御承知デアラウト思ヒマスガ、法律ヲ改正致シマシテ、未亡人ガ分家シタヤウナ場合、子供ヲ連レ或ハ連レズシテ、或ハ子供ニ附イテ分家シタヤウナ場合ニハ、失權シナイト云フコトニ法律ヲ改

正致シマシタ、所ガソレ以前ノハ事情如何ヲ問ハナカッタ、何レモ失權シテ、本來カラ言ヘバ、其當時ノ法ヲ履行スルトスルナラバ、失權スレバ直チニ支給ハ止メテシマフト云フコトニナルベキデアッタ、所ガ受給權ノ調査モ間違ヒマシテ、給與ヲシテ續ケテ居、タノガ隨分アル、サウ云フノデ昭和八年ニ恩給法ヲ改正シタ時ニ、幾分ノ經費ヲ要求致シマシテ、一年置キニ受給權ヲ調査スルコトニシテ、知ラズニ貰フ方モ善意ニ、又給與スル方モ調査ガ付カヌ爲ニ知ラズニ給與シテ居、タト云フヤウナコトガアッテ、双方ノ爲ニ良クナイト云フノデ、一年置キニ調査スルコトニシタ、毎年ヤレバ結構デアリマスケレドモ、ソレダケ費用ガ認メラレナカッタ爲ニ、一年置キニヤッテ居リマス、ソレデ最近ニ多クソレヲ發見シタト云フコトニナリマシタ、成程將來ノ給與ハ其點デ止メラレルト云フコトハ疑ナイノデ

スガ、過去ノ分ガ是ハ恩給局ノ方ノ直接ノ關係デナク支給廳デアル遞信方面ノコトデアリマスガ、今マデ無權利デヤッテ居、タノヲドウスルカト云フヤウナコトガ問題ニナッテ、今中村君ノ御舉ゲニナッタヤウナ、本人ノ意思ニ依ラズシ分家シタトカ、離籍シタトカ、而シテ其離籍ガ法律上當然正當

ニ離籍セラルベクシテ離籍シタノハ別デスケレドモ、本人ノ知ラヌ間ニ離籍ヲセラレタ、或ハ原籍ヘ返サレタト云フヤウナノハ、是ハ元々御承知ノヤウニ、中村君ハ法律家デスカラ、十分御承知ノコト、存ジマ

スガ、元々サウ云フヤウナ分家ナドハ無効デゴザイマスカラ、ソコデ裁判所ヘ無効ノ訴ヲ起シマスト云フト、裁判所ハ無効ノ判決ヲ致シマス、其無効ノ判決ニ依ッテ戸籍ヲ訂正致シマシテ、サウシテ初メヨリ分家ナカリシモノ、初メヨリ離籍ナカリシモノト云フコトニナリマス爲ニ、恩給權ハ初メカラ失ハレナカッタト云フコトデ、ズット今マデ給與ヲ受ケテ居、タノモ適法ニナルシ、又サウ云フヤウナコトデ疑ノ爲ニ止メテ居リマシタノモ、是モ止メズニ將來モ失權ナシトシテ給與ヲ續ケルト云フコトニシテ居リマス、而シテ行政ノ方ノ傾向トシマシテハ、

サウ云フヤウナ本人ガ知ラズニ分家シタトカ、或ハ離籍シタトカ云フヤウナ――強制

的ニ離籍シタトカ云フヤウナサウ云フ疑ノアル場合ニハ、遞信省ノ方、即チ支給廳ノ方トモ連絡ヲ取りマシテ、無權利時代ニ給與シタノヲ急イデ取立テルヤウナコトハセヌヤウニト云フコトデ、恩給局ノ方カラ遞

信省ノ方ヘモ交渉致シマシテ、裁判ナドノ

第六類第三號 軍事救護法中改正法律案外一件委員會議錄 第二回 昭和十二年二月二十七日

片付クノヲ待ッテ居ルヤウニシテ居リマス、實際本當ニ離籍セラルベクシテ離籍セラレ、或ハ分家スル積リデ分家シタノハ、是ハ失權モ仕方ガナイノデアリマスケレドモ、サウデナイノハサウ云フヤウナ方法デ救濟シテ居リマス

○中村委員 軍事扶助法ガ恩給ノ問答ノヤ

ウニナッテ相濟ミマセヌガ、是ハ非常ニ重要ナ點デアリマスルカラ、モウ一二點質問ヲ許シテ戴キタイト思ヒマス、只今恩給局ノ政府委員ハ不知ノ間ノ分家ガ相當ノ理由ガナカッタ場合ニ於テハ、分家無効ノ訴訟ヲ先ヅ提起シテ、ソレデ其判決ノ結果ニ依ッテ復籍——元ノ籍ニ原狀ヲ回復スル、其上ニ於テ恩給ハ元ニ分家ナカリシト同一ノ立場ニ於テ回復ヲ致シ、恩給喪失ノ事實ナカリシモノトナルカラ、ソレデ宜イジヤナイカト云フ御話デアリマスルガ、只今説明ヲ致シマシタ事實ノ上ニ於テハ、事ハ日清戰爭當時ヨリノ未亡人デアアル、既ニ齡七十有餘歳ニナル所ノ現存ノ事實デアアルノデアリマス、ソコデ此七十有餘歳ノ此老人ニ分家無効ノ判決ヲスルト申上ゲマシテモ、事實是ハ佐賀縣ノ出來事デアアルノデアリマスガ、此間私ガ歸リマシタ時ニモ態、私ノ旅館ヲ其老人ガ町ノ有志ニ連レラレテ訪ネテ來マ

シテ、半年モ前ニ御頼ミシタ事件ハドウナリマシタデセウカト尋ネラレタ時ニ、實ハ私ハ説明ノ仕様ガナカッタノデアリマス、私ハ引受ケタモノ、只今恩給局ノ政府委員ノ御説明ノヤウナ事實ノコトハ、法律ガマルデ机上ノ遊戲ノヤウニナッテ居ル關係上、一寸六箇月ヤ七箇月デハ手ノ下シ様ガナイ、所ガ其老人、明日ノ生命モ分ラヌヤウナアノ七十餘歳ノ未亡人ノ顔ヲ見ルト云フト、私ハ何ニモ言フコトガ出來ナカッタ、併シ急速ニ運ブヤウニ御頼ミシテ居ルカラ、一寸待ッテ呉レト云ッテ、ソレデ恩給局モ訪問シ、多分局長閣下トモ一度御會ヒシタカト思ッテ居リマスガ、未ダ其詳シイコトハ私モ亦多忙デ實ハ御訴ヘスル機會モナカッタノデアリマスガ、斯ウ云フ公ノ機會ニ於テ、只今御話ノヤウナ無効ノ訴訟カラ始メテ、サウシテ其判決ノ結果斯ノ如キ手續ニ進ンデ行ケト云フヤウナコトハ、是レ即チ私ハ眞ニ法律ノ要求スル——恩給法ノ要求スル所ノ其立前ガ死法ニナッテ居ル結果ニ基ク所ノ無駄ナ手数デハナイカト考ヘルノデアリマス、此點ヲ私ハ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、即チ此未亡人ガ二十六歳ノ時ニ自分ノ夫ヲ戰場ニ於テ戰死セシメタ、戰死セシメタ其瞬間ニ於テ、成程一方ハ戰死

シテシマヒマシタカラ、夫婦關係ハナクナッテ居リマスケレドモ、戰死者ガ夫デアッタニ違ヒアリマセヌカラ、此夫デアッタ所ノ乙ナラ乙ト云フ人ノ此戰死ニ依ッテ恩給權ノ扶助料トシテ發生スル者ハ、只今七十有餘歳ノ未亡人ヨリ外ナイ、其未亡人ガ、例ヘバ其戰死者ノ兄貴ノ同一戸籍内ニアラウト、或ハ此戸籍ニ於テ分家スル立場ニ置カレヤウト、此所謂夫婦關係ト云フモノハ他ニ嫁セナイ限り、法律ハドウナッテ居ルカ、其點ハ辨ヘテ居リマセヌガ、不品行、不行跡、殆ド此戰死者ノ遺族トシテ法律ガ保護スル資格ガナイト云フコトデアリマシタナラバ、是ハ社會常識上考慮ノ餘地ガナイト云フコトニナルカモ知レマセヌケレドモ、所謂戰死者ノ未亡人ノ鑑トシテ、七十餘歳ノ今日マデ續イテ來テ居ル此人ガ、兄貴ノ甲ト云フ人ノ弟乙ト、戰死シタ當時ハ夫婦關係ガアッタノデアアル、其後戰死ト同時ニ其戰死シタ乙ノ細君ハ分家シテ他ニ追ッ拂ハレテシマッテ居ッタト云フ場合ニ於テ、其夫デアッタ乙トノ關係ニ於テ此乙ノ未亡人ノ身分ハ變リハナイト思フ、是ニ於キマシテ之ヲ根本的ニ整調シ訂正サレル所ノ御方針ハ御研究ニナッテ居ナイカ、之ヲ先ヅ私ハ伺ッテ見タイト思フ

○樋貝政府委員 今ノ未亡人ノ例ヲ取リマス

ト、サウ云フ場合ニ恩給法ニ於キマシテハ、其夫ノ屬シテ居ッタ家ニ居ラナケレバイカヌト云フ主義ヲ執ッテ居リマス、是ハ大正十二年ノ恩給法改正前ニ於キマシテ今日ニ於テモ同様デアリマスガ、他ノ家ニ行ッタ場合ニデモ、其行ッタト云フコトガ其元ノ家ニ居タト殆ド同一視出來ルヤウナ場合ガアルヂヤナイカト云フコトガ考ヘラレマスノデ、ソレデ大正十二年ニ分家シタ場合ダケヲ——未亡人ガ或ハ子供ヲ連レ、或ハ連レズシテ、或ハ又子供ノ方ヲ戸主ニシテ分家シテ、未亡人ガ家族トシテ附イテ居ルト云フヤウナ場合、ソレダケニ付テハ、殆ド元ノ家ニ居ルノト差等ナシニ取扱ハウト云フコトデ、大正十二年ニ其場合ニハ失權シナイコトニシマシタ、ソレヲドウ云フ限度ニ認メルベキカト云フコトハ、立法ノ上ニ於テ色々議論ガアラウト思ヒマスケレドモ、今日ニ於テハ其當時ト變ラズニ、先ヅ其程度デ宜イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソコデ離籍ノ場合ニ於キマシテモ、是ハ形式上ノ離籍ガアリマシテモ、實質的ニ本當ニ離籍スベクシテ離籍シタ場合モアリマセウシ、今中村君ノ御舉ゲニナッタヤウナ場合モアルダラウト思フ、ソレハ何レモ

同一戸籍ニ在ルト云フヤウナコトヲ標準ニ致シテ恩給ノ給與ヲ決メテ置キマス立場トシテハ、一應ハ同ジニ取扱ハネバナラヌノデアリマスケレドモ、併ナガラ實質的ニ本當ニ離籍スベクシテ離籍サレタノデナイ場合ニハ、之ヲ救済シナケレバイケナイノデアルカラ、其救済方法ハ、是ハ今日デハ戸籍ヲ訂正スルヨリ外仕方ガナイ、戸籍訂正ガ單純ナ訂正申請ダケデハ出來ナイコトニナッテ居リマスカラ、ソコデ判決ヲ貰ッテ戸籍ヲ訂正スル、ソコデ戸籍訂正サレテ同一家ニ在ッタト云フコトガ立證サレマスレバ、恩給當局ノ方ハ其事實ニ基キ、サウシテ恩給權ヲ失ハナクッタモノト云フ認定ヲスルト云フコトデアリマスカラ、今ノ所ドウモ之ヲ變ヘルト云フ風ニマデ必要ハナイト思ッテ居リマス、サウ云フヤウナ風ニナッテ居リマス

○中村委員 只今政府委員ノ御説明ハ、成程今日日露戦争ノ如キ、日清戦役ノ如キ問題ガ事實上ニ於テ起テ來ナイカラソレデモ宜イカモ分リマセヌガ、モウ一ツ實例ヲ以テ、是ハ成ベク簡單ニ御説明ヲ願ヒタイコトデアリマスルガ、是ハ昭和八年、最近ノ出來事デアルノデアリマス、是モ事件トシテ私ノ手許ニ入ッテ居リマス、是モ私ノ

方ノ佐賀縣ノ出來事デアリマスガ、丁度滿洲事變デアラウト思ヒマス、昭和年間ノ事件デアリマスルカラ、恐ラク滿洲事變カ上海事變ノコトデアッタト考ヘテ居ルノデアリマスガ、佐賀郡ノ嘉瀬村ト云フ所ニ、乙ト云フ者ガ甲ト云フ者ノ家ニ戸籍ヲ同ジウシテ居ッタノデアリマス、サウ致シマスルト、此乙ハ甲ト同ジ戸籍内ニ居ッタノデアリマスルガ、乙ノ伴ガ滿洲事變ニ出征致シタノデアリマス、而シテ不幸ニシテ戦死ヲ致シタノデアリマス、是ハ極ク最近ノ出來事デアリマス、サウシテ此親父サンニ、直チニ戦死ノ御取扱ヲ受ケマシテ恩給ガ下ッテ參ッタノデアリマス、所ガ僅カ一箇年カ二箇年恩給ヲ貰ッタト云フ程度デ、此親父サンガ其甲ナル者ノ戸籍ヲ引上ゲテ、自分ノ妻ヤ子供ヲ悉ク連レテ、熊本ニ分家ラシタ、縣モ違ヒマス、佐賀カラ熊本ニ移動ラシタノデアリマス、サウシテ分家致シタノデアリマス、サウスルト恩給ガズット止ッテシマッタノデアリマス、併シ恩給ガ一ツノ空論デナイ限りニ於キマシテハ、自分ノ可愛イ伴ガ滿洲ノ野ニ戦ッテ而シテ戦死ヲ致シテ、而モソレノ親父サンデアリマス、其子ノ戦死ノ爲ニ一人ノ親父サンガ貰ッテ恩給ガ、其甲ト云フ人間ノ戸籍

カラ離レテ行ッタカラ、其恩給ハズット打切ッテシマフノダト云フ理窟ガ、恩給ノ根本精神カラ考ヘテアリ得ルカドウカト云フコトヲ私ハ考ヘマシテ、此恩給ノ根本ノ所謂成文ノ上カラ考ヘマシテ、政府委員ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスルカ、所謂此實例ニ對シマシテ御方針ヲ承ッテ見タイト私ハ考ヘルノデアリマス

○糧具政府委員 今ノヤウナ場合ニ付テ、ドウ處置スルカト云フ譯デアリマスガ、恩給、殊ニ扶助料ヲ給與致シマス時ニ、ドウ程度マデ、サウ云フ今ノ起リマシタヤウナ事件ニ付テ權利ヲ認メテ行クカ、給與ヲ續ケテ行クカト云フコトノ境目ノ問題ドラウト思ヒマス、是ハ人工的ニ切りマシレバ、何處ニカ其境目ニハ多少ノ無理ガ來ザルヲ得ナイ、ソレデハ之ヲ無制限ニ、ドウ云フヤウニ家ノ移リ變リガアッテモ給與ヲ續ケテ行ケルカト申シマスルト、ソレハ出來ナイ、ドウ云フ風ニ家ヲ轉々シテ行キマシテモ、尙ホ之ニ恩給ヲ給與スル、扶助料ヲ給與スルト云フコトハ、是ハ爲シ得ナイト思フ、又サウ云フコトハ爲スベキデナイト思ッテ居ル、大體ニ於キマシテ、恩給ノ制度ガ家族主義ト云フモノヲ維持シテ居リマスノデ、純然タル個人主義デ出來テ居リマ

セヌ、サウ云フ立場カラ言ッテ、家ト云フモノヲ無視シテ此關係ヲ認メル譯ニハ參ラス、ソコデ家ト云フモノヲ離レタノハ、ドウ云フ程度ノ時ニ之ヲ認メテ宜シイカト云フコトニ結局ハナル譯デアリマス、只今法ニ於テ規定シテ居リマス所ハ、先程申シマシタヤウニ、分家致シマシタ場合ニハ、弊害ノ一番アリマス所ノ未亡人追出シ、能ク未亡人ヲ何トカシテ分家サセルナリ、或ハ實家ヘ歸スナリシテ、又分家シタイト云ヘバ、ソレヲ邪魔シマシテ、不當ナル居所指定ナドヲヤッテ離籍ヲスルト云フヤウナ方法ニ依ッテ、亡クナッタ軍人ノ親達ガ醜クモ扶助料ヲ取ラウト云フヤウナノガ、以前幾ツカ例ガアッタノデス、具體的ニ今記憶シテ居リマセヌガ、大正十二年ノ改正頃マデニ幾ツモサウ云フコトガアリマシタ、ソコデ未亡人ガ分家シテ、後家ヲ通シテ行クコト云フノナラバ、其節操ヲ保護シタイ、サウ云フ立場カラ言ヘバ、其家ニ居ルト同ジコトダト云フ風ニ考ヘテ宜カラウ、又其軍人ノ子供ヲ戸主ニシテ分家シヨウ、ソレヘ母親ガ付イテ行ク、未亡人ガ付イテ行ク、是ハ一體ノ家トシテ考ヘテ宜シイト云フ譯デ、其限度マデ認メタ譯ナノデアリマス、總テノ分家ノ場合ヲ認ムルノガ適當デア

カドウカト言へバ、今日必シモサウハ言ヘ
ナイト思ヒマス、今ノ具體例ニシマス、ト
丁度境目ニ當ルヤウナモノト考ヘテ居ルノ
デアリマスガ、私ノ考ヘマス所ニ依ッテハ、
マダソコ迄認メナクテモ宜シイト云フ位ニ
考ヘルノデアリマス、丁度境目位ノ問題デ
アリマス

○中村委員 只今ノ政府委員ノ御説明ヲ聽

キマス、ト、マア私ハ日本デ恩給法ノ大家ノ
一人ダト思ッテ一番尊敬ヲ拂ッテ居ル方デア
ルノデアリマスガ、餘リニ御説明ガ學問的
トデモ申シマセウカ、吾々ミタヤウナ、法
律ハ實社會デアリ、實生活ヲ離レテハ法律
ト云フモノ、意義ガナイト云フヤウニ實際
主義ヲ奉ジテ居ル側カラ見テ見マスルト、
餘リニ縁ノ遠イ御説ノヤウニ思フノデアリ
マスガ、モウ一ツ繰返シテ只今ノ此點ヲ重
ネテ御伺ヲ致シテ置キタイノデアリマス、
境目ト申サレルノデアリマスルガ、此實際
ノ場合、其恩給原因ト云フモノハ戰死ニ出
發シテ居リマス、能ク御考ヲ願ヒタイ、
自分ノ子供ノ戰死ニ基イテ出發シタ所ノ恩
給、即チ其恩給原因ハ、一定年限ノ奉公ニ
非ズシテ、戰死ト云フ重大ナル所ノ事實ニ
係ッテ居ルノデアリマス、之ヲ先ヅ第一ニ
御考ヲ願ハナケレバナラヌノデアリマス、

ソレカラ、家ト云フモノヲ重ク見ルト云フ
御説明デアアルノデアリマスルガ、ソレハ無
論私共日本ノ醇風美俗、家族制度ノ上カラ
見マシテ、勿論家ト云フモノ、尊敬スベキ
コトハ同感デアアルノデアリマス、併シ民法
ノ精神ヲ酌ンデ見マシテモ、只今ノ説明ノ
場合、「エイ」ト云フ人ノ家ノ中ニ「ビー」
ト云フ兄弟ガ居ッテ、「ビー」ノ所謂子供及
ビ細君ガ何人モ居ッテ居ラズト云フ場合ニ於テ、
「エイ」ト云フ同ジ戸籍ノ中ニ、同ジ家ノ中
ニ居ル場合ニ於キマシテモ、其「ビー」ト
云フ人ノ子供ガ或ハ就職ヲスルトカ、或ハ
兎ニ角何カ法律行爲ヲスルト云フヤウナ場
合ニ於テ、然ラバ何人ガ後見人トナリ、何
人ガソレニ向ッテ親權者ニナルカト云フ此
民法理論カラ御考ニナルト、如何ニ所謂家
ト云フモノ、價値重シト雖モ、日本ノ民法
ニ於キマシテハ「エイ」ト云フ戸主ニハ權
利ハナイ、「ビー」ト云フモノガ、即チ父ガ
親權者トナッテ——實際ハ戸主ハ「エイ」デ
アリマスルケレドモ、其家族ノ「ビー」ト
云フモノ、倅ニ關スル限りニ於キマシテ
ハ、民法ハ、「ビー」ヲ其「ビー」ノ子供ニ
對スル所ノ——同一戸籍内ノ「エイ」ノ家
ニ居ル場合ト雖モ、其子供ニ對シテ親權ノ
義務ヲ負ハセテ居ルノデアリマス、斯ノ如

キ間柄ノ親子デアアルノデアリマス、其親子

ガ、子供ノ戰死ニ依ッテ得タ所ノ此國家ノ
恩給ト云フモノガ、此「エイ」ト云フ家カ
ラ離レマシテ、サウシテ其獨立ノ分家ヲ拵
ヘタト云フ場合ニ於テ、「エイ」ノ家ニ居ル
間ハオ前ニ恩給ハ呉レルケレドモ、「エイ」
ノ戸籍カラ離脱シテ分家ヲ致シタカラ其恩
給ハ取ッテシマウト云ッテ、縁モユカリモナ
イ所ノ其ノ「エイ」ノ家ニ恩給ヲ置キザリ
ニシテ行ッテヤウナ形デアアルノデアリマス
ガ、其「エイ」ト云フ者モ此場合恩給ヲ
貰ッテ居ラナイ、然ラバ其恩給ノ行方ハ何
處ヘヤリマスカ、然ラバ恩給ハ其戰死シタ
所ノ家ニ呉レルト云フ觀念デアリマスルナ
ラバ、此親父ノ「ビー」ガ外ノ家ニ分離ス
ルト云フナラバ、其「エイ」ガ其家ノ戸主
タルノ資格ニ於テ、恩給權ト云フモノハ「エ
イ」ガヤハリ恩給權ヲ獲得シナケレバナラ
ヌコトニ相成ルノデアリマスガ、之ヲ實際
問題トシテ考慮スル時ニ於キマシテ、此「エ
イ」ト云フ者ガ私ハ恩給權ヲ貰フモノデヤ
ナイト思フ、是ハ恩給法ニモアリマスル通
リ、第一ノ順序ハ妻、子、或ハ父ト云フヤ
ウナ順序ニナッテ居ルノデアリマスルガ、
恩給ノ所謂受給ノ資格ノ中ニ於テモ父ハ其
資格ノ重要ナル地位ヲ占メテ居ルノデアリ

マス、恩給法ニハ戸主トハ書イテナイ、斯
ウ云フ事實カラ見マシテモ、私ハ恩給局長
ノ御説明ハ餘リニ此戰死者遺族ノ、其戰死
者ノ父ニ對スル所ノ給與資格ニ對スル法律
ノ缺陷ヲ包マントセラレル所ノ一種ノ強辯
デアルト私ハ考ヘナケレバナラヌト思フノ
デアリマスガ、是ノ根本對策ニ對シマシ
テ、御研究ノ御意思ガアラルカドウカ、
モウ一度伺ッテ置キタイノデアリマス

○編員政府委員 ドウモ恩給法ノコトニ付

テヤルヤウデ甚ダ恐縮デアリマスガ(中村
委員)之ニモヤハリ關聯致シマス(ト呼フ)
固ヨリ恩給ハ家ニナイコトハ疑ナイ、家ニ
居ル所ノ或ル資格ヲ持ッテ者ト云フ二ツノ
條件ヲ標準ニシテ居ルノデ、ドチラガ缺ケ
テモイケンナイ、サウ云フ所カラ分家シテ家
ヲ去ッテト云フ時ニハ恩給ヲヤラナクナル
ト云フ譯デアッテ、家ニヤラネバナラヌ譯
デハナイ、又家ニ今日ヤッテ居ル譯デモ無
論ナイ譯デアリマス、ソレカラ先程此恩給
ハ子供ノ戰死シタ爲ニ生ジタ恩給デアアルカ
ラト云フコトヲ御話ニナリマシタガ、正ニ
今ノ引例ハサウダト思ヒマスケレドモ、併
シ事柄ハ分家スル方ガ假ニ——サウ云フコ
トハアリマセヌケレドモ、分家スル方ガ戰
争ノ爲ニ分家シタト云フコトニナレバ、ソ

レハ戰爭ノ特異性ト云フモノヲ其處ニ持ッ

テ來レルノデス、起ツタ事柄ガ戰爭デアアルト戰爭デナイトデハ其意味ハ違ヒマス、今ノハ問題ハ失權スル方ノ問題デアッテ、分家ハ本人ノ任意ニ無論ヤッタト思ハレルノデアリマス、ソレハ偶然デモナケレバ或ハ餘儀ナキ戰爭ト云フヤウナ原則デ分家シタ譯デモナイ、本人ノ意思ニ依ッテ分家シタコトハ疑ナイダラウト思フ、其任意ニ分家シタモノヲドノ程度ニ取扱フカト云フ問題デスカラ、其恩給ノ發生原因ガ戰爭ニ因ッタカ因ラヌカト云フコトハ、此處ニハ餘リ關係ナイヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデ、今御舉ゲニナツタダケノ例デハ説明出來ナイノデアリマスガ、其限度ニ於キマシテハ現行法ヲマダ改正スルノ必要ハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○中村委員 サウ致シマスト云フト面倒ナ訴訟デヤッテ來イト云フヤウナ唯單ナル實務ノ運用上ノ解釋程度デ、斯ノ如キ缺陷ヲ補ウテ行カレルト云フ御方針デアアルカドウカ、私ナドハ幾多鹿兒島縣カラモ問合セガ來テ居ルト云フヤウナ實例ガアリマシテ、幾ラモ此實例ニ惱ンデ居ル多クノ者ガ居ルノデアリマスルガ、ソレヲ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○樋貝政府委員 取扱ガ不便デアルカラト云フコトヲ申ス譯デハナイノデアリマシ

テ、分家致サナケレバ即チ家ヲ去ラナケレバ——先程御舉ゲニナツタ例ハ大正十二年前ノコトデアリマシタガ、サウ云フ風ニ家ヲ去ラズニ家ニ在レバ、家ニ在ルト云フコト、死ンダ者ニ對シテ或ル身分ヲ持ッテ居ルト云フコト、此二ツノ事柄ガ條件トシテ必要デアリマスカラ、其兩方サヘ保ッテ置イテ呉レ、バ、取扱ノ便否ノ爲ニ失權サセルト云フヤウナモノデハ無論アリマセヌ、法ノ結果トシテ當然ニ失權シテ居ルノデスカラ、ソレヲ剝權スルカシナイカト云フ問題デアアル、剝權シテ惡イト云フコトハ無論ナイダラウト思フノデス、剝權スル時ニドウ取扱ラスルカト云フコトニ付テハ、法ノ許ス限度ニ於テ出來ルダケサウ云フ善意的ナ間違デアルナラバ、ソレハ寛大ナ結果ニナルヤウニスル、ソレ以上ニハ行政官應トシテハ考フベキモノデハナイデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デス

○中村委員 今一點甚ダ時間ノ都合上御迷惑デセウガ、恩給當局ノ實際上ノ御立場ニ對シマシテ、ドウシテモ其事實ノ矛盾カラ質問ヲ繰返サナケレバナラヌ立場ニ私ハ居ルノデアリマス、ト云フノハ此同一戸籍ト

カ家ト云フヤウナ、サウ云フ立場ヲ土臺ニシテ言ッテ居ラレルノデアリマスルケレド

モ、恩給ト云フモノ、元々ノ觀念ハ身分ニ依ッテ考ヘナケレバナラヌト思フ、身分ニ依ッテ其所謂夫ノ妻デアるか或ハ其子ノ父デアるか、此處ガ恩給ノ最モ有難イ所ナンダ、之ヲ御忘レニナッテハ私ハ恩給ノ有難味ト云フモノガ薄レテ行クト思フ、ソコデ此身分ト云フモノヲ根本ニシテ考ヘマシレバコソ御伺致ス所以デアリマス、モウ一ツノ實例ヲ舉ゲルト、淀橋ノ最近ノ事件デアルノデアリマスルガ、或人ノ細君ガ未亡人トナツタノデアリマス、是ハ大分恩給局ニモ手古摺ラセマシタ、私ハ大分陳情ニモ行キマシタ、此人ハ千五百圓バカリノ恩給ガ付イテ居ッタガ、借金ガ一二萬圓アッタノデアリマス、ソレデ債權者ハ此人ニ政府カラ渡ルコトニナッテ居ル僅カ千五百圓ノ恩給金ヲ目懸ケテ殺到致シタノデアリマス、ケレドモ恩給ノ有難味ト云フモノガ其處ニアッタノデアリマス、ソレハ何カト申シマスト、此細君ハ子供モナケレバ何ニモナカッタ、亭主ニ死ナレテシマヒマシテ、只一人残ッタノガ其細君ダッタノデアリマス、所ガ日本ノ民法ノ是モ一ツノ缺陷トデモ申シマセウカ、一人残ッタ此細君デハ戸

主ニナレナイノデアリマス、一寸素人考シマスト、一人残ッタカラ——其家ニタッタ夫婦居ッタモノガ亭主ガ死ンデシマッタカラ、一人残ッタ妻ハ直ニ其家ノ戸主ノヤウニ見エルノデアリマスガ、日本ノ民法デハ當然ノ戸主デハナイ、故ニ殘ッタ此細君ヲ目懸ケテ訴訟ヲヤリマシテモ、此家ノ亭主ノ借金ハドウスルコトモ出來ナイノデアリマス、是ニ於テ此恩給ト云フモノハドウ云フ風ニ動イタカト申シマスト、死ンダ當時ニ於テ妻デアッタニ相違ナイノデ、千五百圓ノ恩給ハボカト其人ニ下ッタノデアリマ

ス、細君ハ千五百圓ノ恩給ト更ニ五百圓ノ扶助料ヲ懷中ニ突込ミマシタ、是ガ家督ノ相續ノ爲ニ親族會議ヲ開キ家督相續ノ手續ヲ執リマセヌカラ、今日此事件ニ付テハ甚

ダ困ッテ居ルノデアリマスガ、此妻ハ如何ナル立場ヲ執ルノデアリマセウカ、唯併ナガラ恩給ト云フモノニ付テハ、人ノ妻デアッタト云フ此一ツノ身分ニ對シテ有難イ恩給ト云フ國家ノ恩典ガ與ヘラレテ居ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、借金ハドウデアラウト斯ウデアラウト、戸籍ヲ退ケラレタ細君ガ、親族會議ヲ開イテ此家ヲ相續シナイ限りニ於テハ、此家ノ先代ノ亭主ノ債權者ハ何人ヲ相手ニスルコト

一

モ出來ナイ、暖簾ニ腕押シト云フヤウナ實例ガアルノデアリマス、此實例カラ見マシテモ、此所謂戰死者ノ父デアリ、子デアルト云フ身分ガ恩給權ヲ獲得スル所ノ唯一ノ條件デアリ、唯一ノ有難イ所ノ資格デアルト申上ゲナケレバナラヌデアリマス、其家ガ何處ニ動カウト、此觀念ニ基イテ、政府當局ハ恩給ノ有難味ヲ實行サレル點ニ於テ、將來左様ナ御方針ヲ執ラレル御親切ガアルノデアリマセウカ、其研究ノ御態度ダケヲ此際ニ承ッテ置キタイト思ヒマス

○**樋貝政府委員** 今中村君ハ非常ニ珍ラシイ例ヲ御擧ゲニナリマシタガ、私ハ初メテ其例ヲ承ッタノデアリマス、併シ只今ノ場合ハ家ヲ去リマセヌノデ、一般ノ原則ト少シモ變ッタ所ハナイノデアリマス、戸主ガナイト云フコトダケデアッテ、其未亡人ガ家ヲ去ッタト云フ觀念デハナイノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、是ハアナタノ御主張ニナル所ノ適例ニナルカドウカ疑問デアラウト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ヲ研究シテ見ルカドウカト云フ今中村議員ノ御話デスケレドモ、是ハモウ研究シテ見ル積リデアリマス、恩給制度ノコトニ付キマシテハ、私ハ色々方面カラ現行制度ノ善イカ悪イカ、又殊ニ財政ナドノ方面ニ關シ

マシテモ非常ニ重要ナ關係ニナッテ居リマス、斯ウ云フヤウナ點カラモ又諸種ノ點カラモ研究ハシテ見ヨウト思ッテ居リマス、尙ホ今ノ御話モアリマスカラ、ソレ等ノ點モ無論研究シテ見タイト私ハ考ヘテ居リマス

○**中村委員** 元ノ軍事扶助法ノ問題ニ戻リマシテ、是ハモウ御尋スル程ノ問題デモアリマセヌガ——是ハ御提案ニナッテ居ナイ部分デアリマスガ、此扶助ノ恩典ニ浴スベキ範圍ヲ擴張シタト云フ御精神デアリマシタナラバ、現行法ノ第八條、第九條ノ如キ、

「六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ナル場合ニ於テハ、其ノ者竝其ノ家族及遺族ニ對シ救護ヲ爲サズ」ト云フ規定ガアルノデアリマス、是ハ救護スル範圍ヲ擴メルト云フ精神カラ申シマスト、傷病兵ニシテ生活困難ノ結果事情已ムヲ得ズ、會テハ國家ノ爲ニ盡シタ人達ガ、此條文ニ該當スルヤウナ不幸ナ立場ニ立ッタト致シマシテモ、刑ハ一身ニ於テ責任ヲ負フベキモノデアッテ、家族迄モソレニ全責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトハアリ得マイト思ヒマス、是ハ今少シク御擴張ニナリマシテ、本人ノ場合ハ是デ結構ダト思ヒマスケレドモ、家族ヲ救済スル必要ノ生ジタト云

フ場合ニ於テハ、豫テ國家ノ爲ニ盡シタ氣ノ毒ナ人々デアリマスカラ、其家族ニ對シテハモウ少シ擴張ヲナサッテ、恩典ノ御取扱ニ浴セシムルト云フ御精神ハナイノデアリマセウカ、ソレヲ御尋致シマス

○**山崎政府委員** 軍事救護法ハ先程カラ段御話ガゴザイマシタヤウニ、現役兵竝ニ家族遺族ノ扶助ヲスルノデアリマシテ、一般救護法ト異ッテ、軍人ノ家族遺族ノ生活ヲ或ル程度、一般救護以上ニ見ルト云フ點ニ在ルノデアリマス、隨ヒマシテ軍人ガ第八條ニゴザイマスヤウニ、六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタヤウナ場合ニハ、此軍事救護法ノ適用ヲ止メマシテ、尙ホ其家族遺族ニ於テ非常ニ困窮ノ状態ニ在リマ

スレバ、一般救護法ニ依ッテ救護ヲスルト云フ立前ヲ取ッテ行キタイト考ヘテ居リマス
○**川島委員長** 松本君
〔委員長退席、八角委員長代理著席〕

○**松本委員** 國家最高ノ犠牲デアリマスル下士官兵竝ニ其家族ニ對シマシテ、國家ハ是等ニ對シ最高ノ保障ノ義務ヲ負フベキハ當然ノコトデアリマスルガ、ソレハサウ理想的ニハ行カナイラシク思ヒマス、何故カト申シマスト、先日本會議ニ於テ私ガ質問致シマシタコトニ對スル御答辯ヲ聽キマ

シテモ、ドウモ怪シク思フノデアリマス、併シ今回御提案ニナッテ居リマスル改正案ヲ見マスルト、軍事救護法ハ現在ノ社會情勢ニ鑑ミ、適用範圍ノ擴張其他ノ點ニ改正ヲ加ヘテ、軍事扶助ノ徹底ヲ期スルト云フ立前カラ、私ハモウ少シ進ンダ改正ノヤリ方ヲヤッテ戴イテハドウデアラウカ、斯ウ云フ立場カラ質問スル者デアリマス、第一ニ御尋シタイトハ、第二條デアリマスガ、

「本法ニ於テ傷病兵ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ、一、陸海軍下士官兵ニシテ戰鬥又ハ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之カ爲一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタル者」トアリマス、此一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタル者トハドシナ者デアリマスカ、ソレヲ一ツ聽キタイトデアリマス

○**山崎政府委員** 御承知ノ通り兵役免除ニハ、色々種類ガアリマシテ、現役ヲ免除サレマス場合、或ハ豫備役ヲ免除サレマス場合、其他色々病氣ノ程度ニ依リマシテ、免除ノ程度ガ違フノデアリマス、茲ニ一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタル者ト申シマスノハ、現役兵ダケヲ免除サレマシテモ、此範圍ニ入ルト云フコトニ相成ル譯デアリマス、苟モ兵役免除ノ事ガゴザイマスレバ、全部此中ニ入り得ルト云フ解釋ヲ執ッテ居

ル譯デアリマス

○松本委員 現役免除ト兵役免除ハ同一デスカ

○山崎政府委員 兵役免除ノ中ニハ、現役兵ダケヲ免除サレル場合モアリマスシ、先程申上ゲマシタヤウニ現役兵ダケデナクテ、豫備役モ免除サレル場合モアリマスシ、色々ノ場合ガアル譯デアリマス、隨ヒマシテ兵役免除ト現役免除トハ同一デハナイノデアリマシテ、一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタル者ト云フノハ、範圍ガズト廣クナル譯デアリマス

○松本委員 二種以上ノモノトハドンナモノデスカ

○山崎政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ、現役兵ヲ免除サレ、且ツ豫備役ヲ免除サレタ場合ニハ、二種以上ノ兵役ヲ免除サレタト云フコトニ相成ルト思ヒマス

○松本委員 先刻中村君カラモ質問ガアリマシタ、第八條、第九條、第十條ノ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタ者ナル場合ニ於テハ、其者並ニ其ノ家族及遺族ニ對シ扶助ヲ爲サズ、是ハ政府委員ノ御答辯ニ依リマスルト、サウ云フ場合ハ一般ノ救護法ヲ適用スル、斯ウ云フ御答辯ノヤウニ聞イタノデアリマスガ、其犯罪ノ原因ナル

モノガ、此傷病兵ニナッタ爲ニ生活困難ニナッタト云フヤウナ場合ハ、ドウ御取扱ニナルカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○山崎政府委員 第八條、第九條ノ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタト云フヤウナ場合ハ、其原因ノ如何ヲ問ハズ、其者及ビ家族遺族ノ救護ハ爲サナイ立前ニナッテ居リマス、先程申上ゲマシタヤウニ、軍事救護法ハ現在ノ一般救護法ト異リマシテ、軍人ノ家族遺族ノ名譽ヲ尊重シテ、其生活ヲ或ル程度能ク見テ行クト云フ點ニ、根本趣旨ガゴザイマスノデ、斯ウ云フ風ナ不名譽ノ事故ガ起リマシタ場合ニハ、其者並ニ家族遺族ニ付テハ、此法律ニ依リマシテハ救護ヲ止メマシテ、必要ガゴザイマスレバ一般救護法ニ依ッテ救護スルト云フ立前ヲ執ッテ居ル譯デアリマス

○松本委員 私ノ御尋スルノハ其原因デアリマス、傷病兵ニナッタ爲ニ生活ニ困ッテ、其苦シサノ爲ニヤッタト云フ、ソレガ名譽カ不名譽カハ別問題ト致シマシテ、其取扱方ヲ重ネテ御尋スルノデアリマス

○廣瀨政府委員 今ノ御話ノヤウナ場合、傷病兵ニナッタ爲ニ遂ニ犯罪ヲ犯スニ至ッタト云フコトニナッタラバドウスルカト云フヤウニ伺ッタノデアリマスガ、傷病兵ニナ

リマシテ生活ニ困リマスレバ、ヤハリ軍事扶助法ニ依ッテ扶助ヲ受ケルノデアリマスカラ、サウ困ルコトハナイノデハナイイカト思ヒマス、併シ萬一傷病兵ニナッテ困ッテ軍事扶助ヲ受ケテ居ッテ際ニ、遂ニ犯罪ヲ犯シタト云フヤウナ場合ニハ、名譽ヲ重ンズル軍人ノ立前カラ申シマシテ、ヤハリサウ云フ場合ニ扶助ヲシナイト云フノハ已ムヲ得ナイノデハナイイカ、唯併シ先程申上ゲテ居ルヤウニ、其家族、遺族等ニ付テハ、ソレハ軍事救護法以外ニ一般救護法ガアリマスカラ、ソチラノ方デ救護スルト云フ精

神デ行キマス積リデアリマス

○松本委員 次ニ御尋シタイノハ、第六條ノ扶助ノ種類ノ中ニ醫療ト云フノガアリマス、之ニ付テ御尋シタイノデアリマス、昭和十年度ノ調査ニ依リマス、海軍患者ノ總數ハ七萬五千七百七十七人デアリマシテ、其中死亡セルモノ四百四十三人、除役トナッタモノ千百七十七人ト云フ數字ヲ示シテ居

ル、陸軍ノ方ハ所謂軍機ノ機密ヲ守ル爲カ、陸軍患者ノ實數ヲ知ル統計ガ發表サレテ居ラナイノデアリマスカラ、正確ナ事ハ分リマセメガ、海軍ヨリ推シテ考ヘマシレバ想像ハ付クト思フノデアリマス、陸海軍ヲ通ジマシテ結核、肋膜炎患者ニ依ル患者

ハ非常ニ多ク、昭和十年度ニ於ケル海軍患者總數ノ約二十分ノ一ニ相當スル三千三百五十五人ト云フモノガ結核、肋膜炎患者デアリマス、而モ海軍病院ニ於ケル結核病床ハ僅ニ二百四十ニ過ギナイ、陸軍ニ於テハ結核病床ハ特別ニ設置セラレルコトナク、普通病室又ハ傳染病患者ノ病室ヲ使用シツツアルト云フ現狀デアリマス、此病氣ノ患者ハ他ノ病氣ニ比ベテ死亡率高イト云フコトハ言フ迄モナイ、除役サレタモノ、殆

ド大部分ハ遅カレ速カレ死亡スルノデアリマス、斯様ニ多數ノ軍人ガ現役中ニ疾病ニ冒サレ、死ノ一步手前ト云フ所デ兵役免除トナリマシテ、貧困ナル家庭ハ彼等ニ十分ナル醫療ヲ施スコトガ出来ナイ、遂ニアタラ生命ヲ失フ者ガ少クナイノデアリマス、或ハ兵役免除トナッタ病人ヲ抱ヘテ、其醫療費ヲ稼グ爲ニ一家全體ガ非常ニ生活ヲ脅サレテ居リマス、陸海軍ヲ通ジテ年々凡ソ二千名ヲ越エル結核、肋膜炎ニ依ル除役者ガアルト言ハレテ居リマス、然ルニ國家ハ是等多數ノ除役者ヲ收容スル結核療養所ヲ一箇所モ持ッテ居ナイ、内務省ノ所謂結核豫防五箇年計畫ノ中ニハ、結核ニ依ル除役者ノ療養ヲ目的トスル國立結核療養所ノ設置ガ計畫サレテ居ルケレドモ、五箇年後デナケレ

バスレハ完成シナイノデアル、其完成マデノ五箇年間ニ毎年二千人ツ、除役トナル結核、肋膜炎者ヲ一體ドウスル積リカ、サウシテ五箇年後ニ完成シタ頃ハ再ビ病床ノ不足ヲ來シハシナイカ、而モ提出豫算ニ於テハ二百四十五萬二千六百二十八圓トナツテ居タガ、結核豫防施設ノ擴充ニ關スル經費ハ、結核大臣ニ依リ三十六萬八千五百七十八圓ヲ削ラレテ居ル、其削減ハ國立療養所設置ノ經費ヲ削ルノデアルカ、ソレヲ一寸聽キタイ、更ニ兵士ノ除役サレル疾病ハ結核、肋膜炎ダケデナク、他ノ疾病モ亦非常ニ多イノデアルガ、結核以外ノ疾病ニ依ル除役者ノ醫療救護ヲ政府ハ考ヘテ居ルカドウカ、ソレヲ御尋スルノデアリマス

○廣瀨政府委員 御質問ノヤウニ毎年軍人ニシテ結核、或ハ肋膜炎、胸膜炎等ノ爲ニ除役セラレル者ガ相當ニ多イ、此點ニ對シマシテハ軍當局ニ於テモ非常ニ心配セラレマシテ、内務省ト色々打合ヲ致シテ、サウシテ内務省ト致シマシテハ、昨年來此方面ニ付テ色々考究ヲ致シマシタ、ソレニ基キマシテ此除役軍人ニ對シマシテ、今御話ノヤウニ約三千床ノ結核病床ヲ作ル、ソレハ五箇年掛リマス、併ナガラ兎ニ角三千床ヲ作ル計畫ヲ立テマシテ、ソレヲ進行致スコ

トニナツテ居リマス、併シ只今御話ノヤウニ毎年二千内外ノ結核關係ノ除役者ガアル譯デ、是等ニ對シテ今後五年經テバ宜シイノデアリマスガ、御話ノ通り今ハ困ル譯デアリマス、併シ之ニ對シマシテハ、現在アリマスル所ノ公立ノ療養所、是ノ收容能力ノアル病院ガ相當アリマス、ソレカラ其外私立ノモノ等モアリマシテ、結核患者ヲ收容シ得ル所ノ病床ハ、約一万五千人位ハ收容シ得ルヤウニナツテ居リマス、勿論是ハ全部一般人ニモ使ハレテ居ル部分モアリマスケレドモ、併シヤハリ此方面ニモ流用ヲ致シマシテ、軍人ノ困テ居ル除役者ニモ之ヲ使フヤウニ致シマシテ、是非何トカ致シテ行キタイ、將來ニ付テハ先程申上ゲマシタヤウナ五箇年計畫ヲ完成シマシテ、サウシテ除役者ニ對スル施設ヲ完全ニ致シテ行キタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松本委員 其次ニ御尋シタイノハ、本法改正ニ伴ヒマシテ施行令ノ改正ノ意思ガアルカナイカ、ソレヲ聽イテ見タイト思フノデアリマス、現行軍事救護法施行令ノ規定ニ依リマスレバ、生活扶助ノ爲ニ支給スル金額ハ一人一日三十錢以内トナツテ居ル、本施行令ノ發布セラレタ大正六年ト今日トラ比ベマスルト、社會ノ狀態ガ違フ、サウシ

テ其時ト今日トノ總テノ物價等カラ見マスルト、約二三割ノ隔リガアルノデ、大正六年ニ定メラレマシタ一人一日三十錢以内デハ、今日ノ實際ノ價値カラ言ヒマスト二十二三錢ニシカ相當シナイト思フノデアリマス、而モ此生活扶助ノ實際ハ驚クベキ程貧弱ナ狀態デアリマシテ、一例ヲ舉ゲマスレバ、本年ノ一月ノ福岡市ニ於ケル軍人救護施行狀況ヲ見マスニ、扶助ヲ受ケタ戸數ガ四十三戸、其人員ガ百六十人デアリマシテ、金額ハ五百九十四圓、一人一日平均十二錢弱ト云フ有様デアリマス、是ハ獨リ福岡市ノミデナクシテ、全國的ニサウ云フ風ニナツテ居ヤシナイカト斯ウ思フノデアリマス、試ミニ最近十箇年間ノ軍事救護ノ實績ヲ調べテ見マス、昭和元年度ニ於ケル總額ヲ救護人員デ割りマスレバ、一人當リ平均額ハ三十四圓二十五錢デアリマシテ、滿洲事件ノ爲メ急激ニ被救護者ノ増加シタル昭和七年度ニ於テハ、一人當リ平均二十四圓五十一錢ニ低下シテ居ルノデアリマス、昭和十年度ニハ二十六圓ニ達セズ、元年度ニ比ベマスルト一人當リ八圓三十錢ノ減少ヲ示シテ居ルノデアリマス、是ハ實ニ二割三分ニ相當スル減少デアリマス、今日ニ於テハ益、被救護者ノ數ハ増加スル一方デアリマシ

テ、國庫支出ガ之ニ伴ハナイ爲ニ、前ニ述ベマシタヤウナ貧弱ナ有様トナルノデアリマス、「生活スルコト能ハザル者」ニ一日十二錢ヤ十三錢ヲ呉レテヤルト云フノデアアル、ソレヲ今度ノ改正案デハ「生活困難ナル者」ト改メヨウト云フノデアアルガ、生活困難ナ者ニ對シマシテ一日十二錢ヤ十三錢ノ扶助デハ、ドウスルコトモ出來ナイト思フノデアリマス、斯様ナ施行狀況ノ實際ヨリ見マシテ、軍事救護費ノ國庫支出ガ餘リニモ僅少過ギルコトニ、寧ロ奇異ノ感ヲ起サザルヲ得ナイノデアリマス、本年度ノ豫算ヲ見マスルト僅カ百三十萬七千餘圓ノ増加デアリマシテ、本法改正ニ依ル適用範圍ノ擴張ニ依ツテ新ニ増加スル被救護者ト、年殖エル數トヲ考慮ニ入レマスル時ニ、是レ位ノ經費ヲ以テ本案提出理由書ニ謳ハレタル軍事扶助ノ徹底充實ハ、斷ジテ期待出來ナイト思フノデアリマス、現ニ軍事救護法適用以外ノ者ノ救護ノ爲ニ、全國ニ約二百七十ノ民間軍人援護團體ガアリマシテ、昭和七年度末ノ調査ニ依リマスレバ、同年度中ノ救護人員ハ四萬人ヲ超エ、一箇年經費ハ九十萬三千五百圓ニ達シテ居ルノデアリマス、是ハ政府ノ軍事扶助ガ足ラナイ爲ニ、救護ヲ受クベキ狀態ニ在リナガラ、本

法ノ適用ヲ受ケ得ナイ者ガ斯様ニ多數存在シテ居ルト云フコトヲ示シテ居ルノデアリマス、要スルニ本改正案ハ適用範圍ヲ擴張セントスルモノデアリマスガ故ニ、之ニ必要ナル豫算ノ大増加ヲ伴ハナケレバ、一片ノ空文ニ過ギナイト云フコトニナルノデアリマス、政府ハ現在ノ施行實況ニ見ラレル如ク、一日十二三錢ノ生活扶助ヲ結構ナリト考ヘラレルカ、本法適用範圍ノ擴張ニ依ッテ被救護者ハ激増スルガ、其結果ソレ等ノ狀態ガ悪化サレテ、或ハ一人一日十錢程度ニ減少サレルカモ知レナイト云フコトヲ惧レナケレバナラナイト思フノデアリマス、斯ル事態ヲ來サナイ爲ニ此際本法施行令ヲモ改正シテ「一人一日三十錢以内」トアルヲ「一人一日五十錢」ノ確定額トスル意思ガアルカナイカ、又施行令中ノ手續方面倒ナ爲ニ途中ニ時日ヲ費シマシテ、平時ニモ救護ガ遅延シテ被救護者ニ迷惑ヲ與ヘルコトガ甚ダ多イノデアリマス、殊ニ急場ニハ一層其缺點ガアリ、先頃上海事變ノ際出兵ノ時ノ如キハ、申請シテ許可ノ指令ガ下ツタ時ニハ、本人ハ既ニ戦地カラ還ッタ後デアッタ、サウ云フ實例ガアルノデアリマス、斯様な煩瑣ナ手續ヲ除イテ簡單ナモノトスルヨウ、現行施行令ヲ改正スル意思ガオアリデ

アルカドウカ、現行施行令中改正ヲ望ム要點ヲ指摘シマスナラバ、第一ニ扶助ノ事務ヲ掌ラシムル爲ニ、市町村ニ軍事扶助委員會ヲ設ケ、地方長官ノ補助機關トスルニ、扶助ノ急ヲ要スル場合ハ、市町村長ハ假處分ヲ以テ之ヲ行ヒ、市町村費ヲ以テ一時經費ヲ繰換支辨シ、然ル後府縣知事ニ申告シテ裁定ヲ求ムルコトヲ得セシメル、三、市町村長ノ爲シタル假處分ヲ不當ナリト認ムル場合ハ、府縣知事ハ之ヲ取消スコトヲ得ル、又其府縣知事ノ爲シタル裁定ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ルコト、スル、四、生活扶助ノ爲メ支出スル費用ハ一人一日五十錢以内トシ、三十錢ヲ下ルコトヲ得ズトスル、現行施行令デハ三十錢以内、五、助産ノ爲メ支出スル費用ハ二十圓トスル、現行施行令デハ十二圓以内、六、埋葬ノ爲メ支出スル費用ハ二十圓トスル、現行規程ハ十二圓以内、七、災害ニ因リ必要アル場合ノ生活扶助ハ、一家族總額百圓ヲ限リ給與スルコト、爲ス、八、一旦給與シタル金品ハ之ヲ返還セシメナイコトトスル、九、扶助ノ廢止停止等ヲ受ケタル者ハ、行政裁判所ニ出訴シテ再ビ裁定ヲ求ムルコトヲ得ルコト、スル、主ニ斯ウ云フ風ニ爲サル意思ハナキヤ否ヤ

○廣瀨政府委員 只今扶助法ヲ改正致シマシタ後ニ於テ、此施行ニ關スル規定ヲドウスルカト云フ御尋デアリマスガ、施行ノ勅令等ニ付キマシテモ、改メナケレバナラヌ點ガアルト思ヒマス、尙ホソレニ付テ色々御注意モアリ、此手續等ガ遅レルト云フコトニ付キマシテハ、行政ノ運用トシテ御迷惑ヲ掛ケナイヤウニ、地方廳ヲ督勵シテ、間違ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ扶助ノ金額ノ問題デアリマスガ、是等ニ付テモ、決シテ今迄ヨリモ之ヲ低クスルト云フヤウナコトハナイヤウニ致ス積リデアリマス、併シ只今色々御話ニナリマシタ一々ノ項目、色々假處分ノ問題デアルトカ、或ハ扶助委員會ノ問題デアルトカ、其他ノ問題色々御示ノ點ニ付キマシテハ、是ハ御意見ヲ伺ヒマシテ、十分ニ研究ヲ致サナケレバ、何トモ申上ゲ兼ねマス、唯全體ト致シマシテ、今回ノ改正ノ趣旨ガ扶助ノ範圍ヲ擴メ、サウシテ扶助ノ程度ヲ寬ニスルト云フ趣旨デアリマスカラ、此趣旨ニ悖ルヤウナコトノナイヤウニ致ス積リデ居ルノデゴザイマス

○松本委員 私ハ今日ハ是デ宜シウゴザイマス

○八角委員長代理 次ニハ前田幸作君

○前田委員 本員ハ陸軍大臣ノ御答辯ヲ煩ハシタイト存ジマスガ……

〔八角委員長代理退席、委員長著席〕

色々他ニ御繁多ト見エマシテ此席ニ見エテ居リマセヌ、他ノ適當ナ御方カラ御答辯ヲ煩ハスコトニ致シマス、但シ其御答辯ハ陸軍大臣ノ御言葉トシテ拜聽致スコトニ致シマス、左様御諒承ヲ願フデ置キマス

御提案ニナリマシタ軍事扶助法案ハ現内閣ガ祭政一致ノ大旗ヲ振翳シマシテ、其庶政改革ノ一ツトシテ、最モ時宜ニ適シマシタ所ノ改正法律案デアルト思料スルノデゴザイマスガ、併ナガラ率直ニ申上ゲマス、洵ニ微温的デゴザイマシテ、甚ダ遺憾ニ堪ヘヌ點モ多々アルノデゴザイマス、併シ要ハ財源ノ問題デアリマシテ、爲シタクモ財源ハ無シト云フ結論ニナリマスレバ已ムヲ得ナイコトデアラウト思フノデゴザイマスガ、併シ總テサウ論ジテシマヒマスルト、モウ何事モ申上ゲルコトモ出來ナイコトニナリマスノデ、ソコニ多少他ノ方ヲ緊縮ヲシテ戴イテ、又一步モ二歩モ進メル餘地ガアルト思フノデゴザイマス、前質問者ノ御質問ナドモ蓋シ尤ナ點ガ多々アッタノデゴザイマスガ、私ハ既ニサウシタ點ヲバ質問

シ盡サレテ居リマスノデ、茲ニ其内容ニハ觸レマセヌ、別段ノ項目ニ付テ御尋ヲシタ
イノデアリマス

本法ノ第八條ニ、傷病兵ガ六年未滿ノ懲

役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ナル

場合ニ於テハ其ノ者竝ニ其家族及ビ遺族ニ

對シ救護ヲ爲サス、斯様ニアルノデゴザイ

マスガ、是ハ一面已ムヲ得ナイ條文カトモ

思フノデゴザイマスガ、併シ千篇一律ニ禁

錮以上ノ者、六年未滿ノ懲役ト、斯ウ餘リ

ニモハッキリト此處ニ現ハシマスコトハ如

何カト思フノデアリマス、例ヘバ一例ヲ申

シマスレバ、先般來ノ二・二六事件ノ處分

ノ爲ニ、其遺族ノ人々ハ社會方面カラ所謂

勅ニ抗シタル所ノ部隊、其指揮者トカ其幹

部ナリト云フヤウナ汚名ヲ受ケマシテ、可

哀相ニモ其持チ居リマシタ收入ノ途ハ遮斷

サレマシテ、更ニ又別ニ仕事ニアリ付カン

ト致シマシテモ、社會ハ之ヲ顧ミナイ、

斯ウ云フ状態デアリマシテ、洵ニ同情スベ

キモノガアルノデゴザイマスガ、先般政府

委員ノ同僚ニ對スル御答辯中ニ、犯罪者ノ

家族ニ對シテハ、別段ノ救護法ニ依ルコト

ニシヨウ、サウ云フ途モアルノデアアル、斯

様ニ御答辯ニナッタノデゴザイマスガ、未ダ

勅ニ抗シマシタル者ナリヤ否ヤト云フコト

ハ、幾多ノ疑問ガアルノデゴザイマス、私
ハ本件ニ付キマシテハ、別段ノ取扱ニ依リ
マシテ、大乗的見地ヨリ直接軍法會議ニ付
セラレマシテ、一回ノ辯明モ上告モ許サレ

テ居ラナイト云フ、此哀レナ人ニ對シマシ

テ、彼等ガ言ハント致シマス所ヲ率直ニ

述ベテ、陸軍當局ノ御意申ヲ承テ置キタイ

ト思フノデゴザイマスガ、併ナガラ斯ク申

シタカラト申シマシテモ、固ヨリ世ノ中ノ

一部ノ人ガ言ヒマスヤウナ反軍思想ト云フ

ヤウナ言葉サヘモ忌ハシイノデアリマシ

テ、左様ナモノハ今日ハ大日本ニハアリ得

ナイノデアリマス、無論強ヒテ言フナラバ、

親軍思想、當然ノコトデアリマス、親軍ナ

レバコソ私共ハ斯ク申スノデアリマスガ、

此點誤解ノナイヤウニ申上ゲテ置キタイノ

デアリマス、隨テ只今御尋致シマシタ要點

ハ此二・二六事件ノ家族ニ對シマシテハ、別

段ノ救護法ニ依ッテ御救護ナサル意思アリ

ヤ否ヤ、斯様ニ先ヅ承リタイト存ジマス

○山脇政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシ

テハ、私カラハ一寸御答辯申兼ネルノデア

リマスガ、今ノ要旨ヲ大臣ニ申シマシテ適

當ノ機會ニ御答辯致スコトニ致シマス

○前田委員 諒承致シマシタ、サラバ尙ホ

御答辯ヲ得ルナリ、又前段同様ノ御扱デモ

結構デアリマスガ、續イテ御伺シタイノデ
ゴザイマス、本法ノ御提出ノ骨子ハ何處ニ
アルカト申シマス、所謂「軍事扶助ノ徹

底充實ヲ期スルガ爲」ト云フ字句ガ使ッテア

リマスノデ、洵ニ結構ナコトデアリマス、

隨ヒマシテ現役ト言ハズ、傷病者ト言ハズ、

其家族ト言ハズ包含サレテ居ルノデゴザイ

マス、是ニ於キマシテ御尋ヲシタイノデゴ

ザイマスガ、先ヅ現役ヲ救濟シ、家族ヲ救濟

スルコトハ當然デアリマスガ、死ニマシタ

者、戰死者ハ固ヨリデアリマスガ、刑死者

ト雖モ此本法ノ精神カラ云ヘバ無論物質的

ノ御救助ハ別トシテ、例ヘバ刑ニ付セラレ

マシタ者、其刑ガ死刑デアッタ、此場合ニ於

キマシテ無論其死刑ノ者ヲドウシテ救濟ス

ルト云フコトハ、アリ得ルコトデモアリマ

スマイン、又本法ノ御提出ノ條文ニモアリ

マセヌガ、御精神ニ於キマシテハ、既ニ事

ヲ處シテシマッタ其後ノ者ニ對シマシテハ、

條文的ニハナクテモ、此氣持ヲ以テ御迎ヘ

ニナルノデアリマセウカ如何デアリマセウ

カ、此點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○山脇政府委員 此問題モ前ノ御質問ト同

様ニ御願シタイト思ヒマス

○前田委員 更ニ進ンデ御尋ヲシタイノデ

ゴザイマスガ、成ベク議事ノ進行上本日打

切リタイト思フノデゴザイマスガ、左様ニ
參リマスルト一寸是以上ノ御質問ヲ致シ兼
ネマスノデ、當該大臣ノ御答辯ヲ得マス迄

暫ク保留ヲシタイト思ヒマス

○升田委員 便宜上此條文ノ順序ニ御伺致

シマス、此名稱ニ付キマシテハ先程社會局

長官ヨリ縷々御述ニナッテ居ッタヤウデアリ

マスガ、是ハ過日ノ本會議ニ於テ私ガ隨分

詳シク申述ベタ通りニ、此救護ト云フコト

ノ現行法ノ文字ハ餘程是ハ考慮ヲ要スルモ

ノデアリマス、本法制定當時ノ立法ニ從事

シタ者ハ、能ク詳シク知ッテ居ッテ、此點ニ

付テハ前内務大臣ノ潮氏ナドモヨク御承知

ナ管デアッタと思ッテ居リマスガ、兎ニ角是

ハ一度政府案デナシニ、衆議院案トシテ出

タノデス、其時ニ隨分練ッタ問題デアリマ

ス、其結果色々ノ議論ガアッタケレドモ、結

局扶助トカ救助トカ云フヤウナ文字ヨリ

モ、先ヅ救護ト云フ方ガ宜カラウト云フコ

トデ救護ニナッタノデアリマスガ、其當時モ

保護法ト云フコトニ付テハ餘程議論ガアッ

テ、其方ガ宜カラウト云フコトデアリマシ

タケレドモ、過日内務大臣ガ御答辯ニナッ

ヤウニ、軍機保護法ト混同サレ易イ虞レガ

アルカラト云フノデ、先ヅ此救護法ト云フ

コトニシタラ宜カラウト云フコトデ、議院

ノ方デモ通ッテ居ル、ソレガ今度政府案ニ
ナッテ出タ時ニモ同様議論ガアリマシタガ、
結局同ジヤウナ意味デ先ヅ救護法ト云フコ
トニナツタ、ソレガ此度改正ノ結果扶助法ト
云フヤウナ一層悪イ意味ニ解セラレルヤウ
ニシタ、先程御答辯ノ中ニ折角今日デハ軍
事扶助事業統制ト云フヤウナ協定書ガ出来
テ、ソレニ關スル種々ノ規定モアルカラト
云フヤウナ御話モ社會局長官カラアリマシ
タシ、過日ノ内務大臣ノ答辯ニモサウ云フ
事ガアリマスケレドモ、ソレハ非常ナ間違
デス、ソレハ根本ノ誤デス、外ノ慈善團體
ガ軍事救護ニ付テ御熱心ニ色々御世話ヲナ
スッテ下サルノハ非常ニ有難イ、有難イケレ
ドモサウ云フ慈善團體ノ慈善事業ト混同サ
レテ、他ノ扶助事業ニ之ヲ打込シテ、一緒
ニ御研究ニナルト云フコトハ、是ハ根本ノ
誤デアル、ソレガ軍事救護法ノ眞精神ヲ解
シテナイ所ノ證據デアアル、殊ニ折角軍事救
護法ト云フモノガアッタノヲ、後カラ一般ノ
貧民救助ノ意味ニ於ケル救護法ト是トヲ同
ジヤウニ統制シテ、サウシテ救護法ト云フ
一般貧民救護ノ法律ガ出来タ爲ニ、折角軍
事救護法ト云フモノヲ追出シテ、更ニ一等
下ッテ軍事扶助法ニ直サナケレバナラヌノ
ハ、救護法ト混同シ易イ虞ガアルカラト云

フノデ、今度御改正ニナルトノコトガ其理由
ニ見エテ居リマシタガ、是ハ非常ナ誤デスカ
ラ、此扶助法ト云フ名稱ハ潔ク御撤回ニナツ
テ軍事保護法ト御直シニナツテ宜カラウト
思フ、軍機保護法ト云フノト少々語呂ガ似
テ居ル、ソレナコトハ微々タル問題デス、ソ
レガ爲ニ保護法ト云フ名稱ハ良イ案ダケレ
ドモ、一寸混同シ易イカラソレヲ附ケル譯
ニ行カヌト云フコトハ、何等ノ理由ニナラ
ヌ、ケレドモドウシテモサウ云フ虞ガアル
トスレバ、軍事遺家族傷病兵保護法ト云フ
ヤウナ名前ニシテモ宜カラウ、或者ハ軍人
遺家族保護法ニシタラ宜イノヂヤナイカト
云フコトヲ、過日來色々代議士諸君ガ言ヒ
マスケレドモ、傷病兵ト云フモノハ既ニ兵
役ヲ免除サレテ軍人デナイカラ、軍人ト言
フ譯ニ行カヌト云フコトヲ大分説明シテ置
キマシタガ、ソレデハ軍事遺家族傷病兵保
護法ニシタラドウカト云フ人モ随分アリマ
ス、此點ハ是非サウ云フヤウニ御改正ヲ願
ヒタイト思フ

式ダケヲ整ヘテ其實行ト云フモノニ至ッテ
ハ何等顧慮シナイ案ノヤウニ思フ、ソレデ
アリマスカラ此點ニ付キマシテ先ヅ御伺シ
タイノハ、第二條ノ第二號バカリデナク、
第三條ノ第三號、ソレカラ第四條ノ第三號
及ビ第五條ノ範圍ノ擴張ニ付テ豫算ヲ御作
リニナツタ時ニ此法律ノ改正ニ依ッテ増加ス
ベキ所ノ人員及ビ費用額ト云フモノ、推算
ガ出来テ居ルト思ヒマスカラ、ソレヲ頂戴
シマシテカラ後ニ私ハ第二條第一項第二號
ノ贊否ヲ決シタイト思ヒマスカ、ソレガ今
出来テ居リマスカ、勿論アルト思ヒマスカ
若シ直グ戴ケナケレバ次會ニデモ戴キタ
イ、ソレカラ後ハ少シク立法技術ニ互ルヤウ
デ、何か小股デモ擲フヤウニ誤解ヲ受ケテ
モイケマセヌガ、サウデハナイ、是ハ實質上
餘程御考ニナラヌト、之ニ干與サレタ方ガ
十分御承知ニナラナイデ斯ウ云フ規定ガ出
來タト思ヒマスカ、先ヅ第三條ノ第二號ノ
件デス、先程松本君カラ御質問ガアッタ時ニ
御答ニナツタ兵役ヲ免セラレタト云フコト
デアリマシタガ、第二條ノ第一號ニ於テ「一
種以上ノ兵役ヲ免セラレタル者」ト書イテ
アル、然ルニ第三條ノ第二號ノ末尾ニハ「傷
病兵ノ兵役ヲ免セラレタル時」ト書イテア
ル、一種以上ト云フコトハ書イテナイ、然

ラバ若シ甲ナル者ガ初メニ現役ヲ免セラレ
テ、後更ニ兵役ヲ免セラレタ場合ニハ、是
ハ専門ノ用語トシテモ立派ニ現役免除豫後
備役免除、兵役免除ト云フコトニナツテ、明
確ナル分界ガアルカラ茲デモ實際ヲ言ウト
一種以上ノ兵役ヲ免セラレタ者ト書カナケ
レバナラヌト思フ、然ルニ唯兵役ヲ免セラ
レタル者ト云フ風ニ書イテアル、サウスル
ト此兵役免除ト云フノハ、一種以上ノ兵役
ヲ免セラレタ時モ兵役ヲ免セラレタコトニ
ナリ、更ニ二種ノ場合、更ニ全兵役ヲ免ゼ
ラレタ其場合ニ、ドレヲ「ポイント」トシテ
此法律ヲ適用スルカ、是ハ今日重大ナル問
題デアアル、昭和六年ノ改正ノ時ニ一種以上
ノ兵役ヲ免セラレタ者ト云フヤウニ、第二
條ノ其點ダケヲ改メラレテ、第三條ノ方ハ
其儘ニシテ訂正シナカッタ、此時ニ既ニ缺陷
ガアリマス、ソレガ今日マデ放ッテアッタ、今
日ドウ云フ風ニシテ適用サレテ居ルカ私ニ
ハ分ラヌ、非常ニ疑問ニ思フ、初メニ此法律
ヲ制定シマシタ時ニハ、サウ云フヤウナ誤
ハナカッタ、チャント立派ニ出来テ居ッタ、ソ
レガ不用意ニモ第三條第二號ダケハ其儘置
カレタノダガ、此點ハ此際改ムベキモノデ
ハナイカト思フ、ソレカラ第三條ノ第三號
デス、新ニ第三號ヲ御設ケニナツタ趣旨ガ

ハッキリ分ラヌ、第三條ノ第三號ト云フヤウ
ナ新シイ所ノ項ヲ設ケラレタ精神ト云フモ
ノハ家ニ在ル者、即チ戸籍内ニ在ル者ト云
フノヲ、世帯ニ在ル者、斯ウ云フコトニ御
改メニナルノガ此立法ノ精神ダト思フノデ
アリマス、サウデアアルトシマスレバ、態、此
第三條ノ第三號ヲ使ハナイデモ、第二號ノ
終リニ、免ゼラレタ時ヨリ引續キ是ト同一
ノ世帯ニ在ル者ト直シテモ何等違ヒガナ
イ、態、第三號ヲ設クル必要ハナイト私ハ
思ッテ居リマス、此點ニ對スル所ノ御答ガ願
ヒタイ、ドウデアリマセウカ、段々次々ト
言フト御答辯ガシニク、ナッテ來マスカラ
切ッテヤリマセウカ、マダ四ツ五ツアリマス
カラ……

○廣瀨政府委員 切ッテ願ヒマス、只今ノ御
質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、法ノ名稱
ノ問題デアリマスガ、是ハ私共ハ決シテ惡
クナッテト思フテ居ラヌノデアリマスガ、之
ニ付テハ先程申上ゲマシタヤウニ、私共
ノ方デモ色々研究ヲ重ネマシテ、社會事業
調査會等ニ於テモ之ヲ決メ、ソレカラ尙ホ
昭和十年ノ十月ノ全國ノ社會事業大會等ニ
於キマシテモ、扶助法ト云フノガ宜シイト
云フヤウナ決議ヲサレテ居ルノデアリマ
ス、此社會事業大會等ニ於キマシテモ、ヤ

ハリ特別委員ナドヲ設ケマシテ、サウシテ
特別委員ニハ軍部關係ノ方モ入ッテ居リ、
又色々ナ軍人後援團體ノ方モ入ラレマシ
テ、サウシテ御研究ノ結果、扶助法ガ宜カ
ラウト云フ御決議ガアッタヤウナ次第デ
アリマス、内務省デモ色々研究致シマシタ
ガ、ヤハリ救護ト云フ從來使ッテ居タ名前
ハ適當デナイ、何トカ之ヲ改メヨウト思ッテ
居ッタノデアリマスシ、又特ニ社會事業ノ
調査會ヲ開イテ之ニ付議致シマシテ、サウ
シテ意見ヲ徴シタノデアリマス、是モ扶助
法ト云フノガ適當デアラウト云フコトデア
リマシタ、内務省デモ色々研究ヲ致シタ結
果、ヤハリ是ガ最モ適當デアルト云フノデ
扶助法ト云フ文字ヲ使ッタノデアリマス、私
共ハ決シテ惡クナッテト云フヤウニハ思ッテ
居ラヌノデアリマス、ソレカラ尙ホ只今調
査書類ノ御要求ガアリマシタガ、其點ニ付
キマシテハ改メマシテ御手許ニ差出スコト
ニ致シマス、尙ホ私カラ御答辯申上ゲテ居
ラナイ點ニ付キマシテハ、他ノ政府委員ヨ
リ御答致スコトニ致シマス

○山崎政府委員 御尋ノ第三點カト思ヒマ
スガ、第二條ノミニ「一種以上ノ兵役ヲ免
ゼラレタル者」ト書イテ、傷病兵ノ文句ノ
他ノ部分ニ付テハ、何等ノ兵役免除ノコト

ヲ書イテナイガ、ソレハヲカシイデヤナイ
カト云フ御尋ダッタト思フノデアリマスガ、
御覽ノ通りニ第二條ニ於キマシテ、傷病兵
ノ定義ヲコ、ニ明ニ致シテ居ルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ第二條以下ニ於キマシテハ、
別段一種以上ノ兵役免除ト云フコトヲ書カ
ナクテモ、當然此傷病兵ノ範圍ト申スノハ、
第二條ニゴザイマス一種以上ノ兵役ヲ免ゼ
ラレタモノト云フ解釋ニナル譯デアリマ
ス、其點ニ於キマシテ第八條、第九條等ニ
モヤハリ傷病兵ト云フ言葉ヲ使ヒマシテ、
一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタルモノト云フ
コトニナッテ居ラナイノデアリマス、第二條
ニ明ニ定義ヲ書イテ居リマス以上ハ、以下
之ヲ同一ニ御解釋ヲ願ヘバ宜シイト思フノ
デアリマス、尙ホ第三條ニ付キマシテ、モ
ウ一點御尋ガアッタカト思ヒマスガ、第三條
ニ三ヲ入レタ以上ハ、第二號ハ殆ド要ラス
デヤナイカト云フヤウナ御問デアッタカト
思ヒマス……

○升田委員 イヤ第二號ガ要ラスデヤナ
イ、第二號ヲ直シテモ宜イデヤナイカト云
フノデス
○山崎政府委員 ト云フ御話デアッタト思
フノデアリマスガ、家ト世帯ト申シマスノ
ハ、場合ニ依ルト違フコトガアル譯デアリ

マシテ、世帯ガ同一デナクトモ家ガ同一デ
アレバ、救護ヲ要スルヤウナ場合モアルカ
ト思フノデアリマシテ、サウ云フ場合ニハ
二ト三ト書分ケマシテ、存置スルコトガ必
要デナイカト思フノデアリマス
○升田委員 是ハ非常ニ質問ヲ誤解シテ居
ラレル、傷病兵ノ定義ハソレデ宜イ、傷病兵
ノ定義ヲ私ハ聽イテ居ルノデヤナイ、傷病
兵ノ定義ハソレデ宜イカラ、以下各條ニ互
テ之ヲ直ス必要ハナイ、私ガ申シマシタノ
ハサウデナクテ、此第三條ノ第二號ノ兵役
免除ノ問題デアアル、即其救護ヲ開始スル所
ノ時期デアアル、其時期ガ唯兵役ヲ免ゼラレ
タト云フコトヲ書イテアルナラバ、一種ダ
ケノ兵役ヲ免ゼラレタ時ト、更ニ全部ノ兵
役ヲ免ゼラレタ時ト二ツノ點ガアル場合ニ
ハ、其時ハ何レヲ標準トシテ此法ヲ適用ス
ルカト云フノデアリマス、アナタノ御答ハ
全然違フ、ソレカラ現行法ノ第三條ノ第二
號ニ付テモ、家ニ在ル者ト云フコトハ、嚴
格ナル主義ニ於テ戸籍内ニナクチャイカヌ
ト云フ者ヲ、此法ニ依ッテ緩和シマシテ、世
帯ガ同一デアレバ決シテ家ニ居ラナク
トモ、世帯ニアル者ナラバ助けテヤルト、斯
ウ云フ譯デ今度ノ立法ノ趣意ガ能ク明カニ
ナッテ居リマス、サウシテ見レバ家ト云フコ

ト云フコトハ、嚴
格ナル主義ニ於テ戸籍内ニナクチャイカヌ
ト云フ者ヲ、此法ニ依ッテ緩和シマシテ、世
帯ガ同一デアレバ決シテ家ニ居ラナク
トモ、世帯ニアル者ナラバ助けテヤルト、斯
ウ云フ譯デ今度ノ立法ノ趣意ガ能ク明カニ
ナッテ居リマス、サウシテ見レバ家ト云フコ

トハアッテモナクテモ宜イデヤナイカ、勿論
家ニ在ル者ガ世帯ニ在ル者ニナルノダカ
ラ、是ト同ジヤウナ意味デ世帯ガ同一デナ
クテモ、家ニ戸籍ガアッテソコカラ出テ居
ル場合ハドウスルカ、斯ウ云フヤウナコト
ハアルカモ知レマセヌガ、ソレハ假ニ餘所
ヘ奉公ニ行ッテ、家ニ衣食シテナクテモ、サ
ウ云フヤウナモノモ世帯ト云フコトニ解釋
シテ、世帯ヲ廣ク解釋スルノガ本員ハ必要
デナイカト思フ、ソレカラ更ニ只今社會局
長官ノ御話ニナッタ社會事業調査會トカ、或
ハ一般ノ社會團體ノ色々ノ會合ニ於テモ、
扶助ガ宜イト、斯ウ云フコトヲ言ッタトノ
御話デスガ、一體ドウ云フ理由デサウ云フ
コトヲ言ッタノカ、救護ヲ扶助ニ改メナケレ
バナラヌト云フノナラバ、何故ニ一般ノ救
護ヲ、態、恤救規則ト云フモノヲ救護法ト
云フ名稱ニ數年前ニシタカ、救護ト云フ名
稱ガ宜イカラ救護トシタデハナイカ、所ガ
大體ガ軍事救護ト云フモノヲ、社會事業ヲ
ヤッテ居ル人々ハ實際ニ理解シテ居ナイノ
デス、ソレハ一般救助ト云フコトニ重キヲ
置キマシテ、此軍事要救護者ノ人々ヲ軍人
ノ遺家族及傷病兵ヲ助ケルト云フコトデ、
獨特ナル頭ヲ以テ此法律ヲ見テ居ナイノデ
ス、社會事業家ハ一般ニ唯慈善事業デア
ル、

社會事業デアルト云フコトノ頭バカリ持ッ
テ居リマスカラ、此軍事救護ト云フモノニ
對シテ、寧ロ扶助ト云フコトデ、一般ニ助
ケテヤル、オ助ケシテヤルノダト云フ考ガ
強イカラ、扶助法ト云フコトヲ言ッタノカ
モ知レナイ、所ガオ助ケト云フコトニ全然
軍事救護法ハ考ヘテハイケナイ、助ケデア
テハイケマセヌ、ソレハ過日私ガ縷々本會
議デ申シマシタヤウニ、ソレガ爲ニ此救護
ヲ願ヒ出ヌ者ガ隨分多イ、過日モ申シマシ
タヤウニ、ヤハリ軍人ハ色々教育ヲシテ
居リマス、ソコデ隊ニアル者デ自分ノ家庭
ガ非常ニ困ッテ居テモ、例バ其兵隊ガ貧
乏デ家カラ金ヲ送ルコトガ出来ナクテ、外
ノ者ガ酒保ヘ行ッテ旨イ物ヲ喰ッテ居ル、市
中ヘ出テ旨イ物ヲ喰ッテモ、決シテソレガ爲
ニサウ云フヤウナ慾望ニ誘惑サレテハイカ
ヌ、武士ハ喰ハネド高楊枝、何處マデモサ
ウ云フコトヲ考ヘナクテハイケナイノダト
云フヤウナ教育ヲシテ居ル、サウ云フヤウ
ナ考デ以テ、ヤハリ自分モ餓ジイ思ヒマス
ルカラ家ノ者モ氣ノ毒ダガ我慢シテ、サウ
云フ救護ナド受ケヌヤウニシテ呉レト、斯
ウ云フ考ヲ起ス、ソレバカリデナイ、家ニ
殘ッテ居ル者ハ土ニ喰付イテモ石ニ嚙リ付
テモ助ケテ願フ、救護ヲ願フコトハ斷ジテ

出サヌト、斯ウ言ッテ居ル、ソレハ私ガ過日
モ申シマシタヤウニ、昭和六年乃至九年ノ
事變ニ付テノ動員ノ時ニ、私ハ東京市中ニ
此軍事救護ヲ要スル者ヲ調べテ、家庭ヲ訪
問シタコトガアル、ソレニ此法ノ理解ヲサ
セル爲ニ色々骨ヲ折ッタガ、喜ンデソレニ應
ズル者モアルケレドモ、ドウシテモ私ハオ
助ケト云フコトナラ要リマセヌ、愛國婦人
會トカ或ハ兵事義會ミタヤウニオ土産贈呈
ト云フヤウナ意味デ戴クナラ、ソレハ貫ッテ
モ宜イ、私ノ方カラオ助ケテ願フト云フノ
ナラ、假令土ニ喰付イテモ石ニ嚙リ付テモ貰
ハヌト言ッテ之ヲ拒絕シテ居ル、デアルカラ
此名稱ヲ變ヘナケレバイケナイト云フノハ
多年ノコトデア
ル、ソレハ一般救護法ヲ會
テハ恤救規則デア
ッタヤツヲ、救護法ト云フ
名稱ニサレタ爲ニ、愈々軍事救護法ト云フモ
ノヲ、貧民救護ト云フヤウニ世人ガ認メル
ヤウニナッタ時以後ニ一層此名稱ヲ改メナ
ケレバイケヌト云フコトヲ、吾々ノ仲間デ
言ヒ出ス様ニナ
ッタ、ソレヲ社會事業家ナド
ハ知リマセヌカ
ラ、寧ロ統一スル爲ニ扶助
ノ方ニシタラ宜
カラウト云フヤウ
ナコトモ
言ッテ居
タカ知レマセヌ、殊ニ甚ダ失禮ナ
コトヲ言フヤウ
デシタケレドモ、私ハ此間
本會議デ少シ言
過ギカト思ヒマ
シタケレド

モ、ドウモ此法律ヲ直ス時ニ社會事業調査
會ノ委員ノ諸君ハ、外ノコトデハ錚々タル
人カ知レナイケレドモ、此事ニ付テハ何モ
知ッテ居ナイ、私ガ本會議デ言ッタ通りデア
ル、サウ云フ者ガ是ハ統一シタラ宜カラウ
ト云フ考ナラバ、大分認識不足ダト思ヒマ
スカラ、是ハ是非共改メテ貰フ必要ガアル
ト思フノデス、ソレデ只今申シマシタコト
ヲ繰返シテ言ハナクトモ宜イノデスカラ、
何レ此會議ガ今日デ終ル譯デナイカラ、今
日申上ゲタコトハ十分御研究ヲ願ヒタイト
思ヒマス
次ニ述べマスコトハ第四條デスガ、之ニ
又缺陷ガアル、此二號ニアル所ノモノヲ、
更ニ第三號ニ御作りニナ
ッタ、是ハ只今モ申
上ゲタ第三條ト同ジヤウ
ナ意味デ、第三號
ハアッテモナクテモ、別
ニ作ッタカラ惡イト
云フ譯デハナイガ、必要
ガナイト思ヒマス、
假ニ第三號ヲ新シク設
ケルノハソレデ宜イ
ト致シマシテモ、此中
ニ何故ニ此第三號カ
ラ死亡者ノ死亡ノ時ト
云フコトヲ取去ッ
タノカ、此第三號ニ依
ルト、死亡者ノ死亡ノ
時
家ニ在ル者ハ、既ニ第
二號ニ依ッテ助カリ
マスケレドモ、世帯ニ
アル者デモ家ニナイ
者、即チ戸籍内ニナイ
者ハ是デハ助カリマ
セヌ、此第三號デハ
ドウシテハ落シタノ

デスカ、誤リデ落シタノデスカ、ドウ云フ立法ノ精神デ特ニソレヲ除ケラレタカ、現在生キテ居ル者デハナイ、大事ナ死亡者ノ遺族ナンダ、ソレヲ第一ニ助ケナケレバナラヌ、其死亡當時ノ遺族デモ其下士官兵ノ入營若クハ應召シタル時又ハ傷病兵ノ兵役ヲ免ゼラレタ時ニ世帯ニ在ラナカッタラ救護ハ受ケヌ、ソレデハ戰死シタリ、病死シタリシタ者ノ遺族ノ中デモ死亡ノ當時世帯ニハ在ルケレドモ戸籍ニハ無イト云フ者ハ何處デ助カルカ、之ヲ一ツ御答ヲ願ヒタイ、先ヅ一ツツツヤリマセウ、餘リ長クヤルトイケマセヌカラ……

海軍下士官兵若ハ傷病兵ニ依リ扶養ヲ受クベキ者」ト云フ遺族ノ定義ヂヤアリマセヌカ、死亡シタ時ノ遺族ニ是ガ繫テ居ルト云フコトガ言ヘマスカ

○山崎政府委員 「扶養ヲ受クベキ者」ガ即チ遺族デアリマシテ……

○升田委員 イヤ、「扶養ヲ受クベキ者」ト云フ文字ニ其以下ニ書イテアルコトガ繋ルノヂヤアリマセヌカ、ソレハ死亡ノ時ト規定シテアレバ其後ヲ書ク必要ハナイ、即チ入營云々ノ時、何々云々ノ時ト云フノハ必要ガナイノデアリマス

○山崎政府委員 扶養ヲ受クベキ者ト云フノハ遺族デアリマシテ、其遺族ヲ限定スル爲ニ後ノ文句ガアル譯デアリマス

○山崎政府委員 只今御質問ノ點ハ、第三號ニ「前二號ニ掲グル者ヲ除クノ外戰死シタル陸海軍下士官兵又ハ第二條各號ノ傷病若ハ疾病ノ爲死歿シタル陸海軍下士官兵ニ依リ扶養ヲ受クベキ者」ト斯ウ云フ風ニ讀ンデ戴キマスレバ、死亡シタ場合モ當然入ル、斯ウ云フ解釋ヲ取ッテ居ルノデアリマス

○升田委員 ソレハ、「者ニシテ」ト云フ文字ガズツ後ニ續イテ居リマスノデ、扶養ヲ受クベキ者ノ下ニ死亡ノ時トアリテ、其處ニ點ガアッテ切ッテアレバ、アナタガ仰シヤッタヤウニナリマスケレドモ、「者ニシテ」下士官兵」云々ト云フコトニナルト、死亡ノ時ト云フコトヲ除イテノ解釋ノ文字トヨリ外ニハ讀メマセヌ、之ヲ今直チニ彼此レ此時ニ一

○升田委員 是ハ又アナタガ誤解ヲシテ居ル、ソレハアナタノ説明ハ「扶養ヲ受クベキ者」ノ定義デアル、前二號ニ掲グル者ヲ除クノ外戰死シタル陸海軍下士官兵又ハ第二條各號ノ傷病若ハ疾病ノ爲死歿シタル陸

○升田委員 是ハ又アナタガ誤解ヲシテ居ル、ソレハアナタノ説明ハ「扶養ヲ受クベキ者」ノ定義デアル、前二號ニ掲グル者ヲ除クノ外戰死シタル陸海軍下士官兵又ハ第二條各號ノ傷病若ハ疾病ノ爲死歿シタル陸

海軍次官ガ御見エニナッテ居リマスガ、外ニ用事ガアルサウデアリマスカラ、海軍ノ關係ヲ先ニ御願出來マセヌカ

○川島委員長 ソレヂヤ升田君、引續イテオヤリヲ願ヒマス

○升田委員 ソレデハ一寸名稱ノ問題デスガ、マダアトノコトモ、場合ニ依レバ範圍ナドモ陸海軍ノ當局ニ御伺シタイと思ヒマスガ、併シ名稱ノコトニ付テ、ヤハリ陸軍及ビ海軍兩大臣ニ御伺シマスガ、此扶助法ト云フ、扶ケルト云フ文字ガ適當デアリマスヤ否ヤ、其點ヲ一寸伺ヒマス、軍部兩大臣又ハ陸軍、海軍、當局者ナレバドナタデモ宜ウゴザイマス、若シ然リトスレバ其理由ヲ伺ヒタイ、先程社會局長官ノ御説明ニ依リマス、陸海軍ガ御出席ニナッテ、共同ニ研究シタ結果ト云フコトガアリマシタガ、併シ共同ニ研究ト云ッテ、ソコマデハ陸海軍モ御研究ニナッテ居ルカドウカ分ラヌノデスガ、先程社會局長官カラノ御話モアリマシタカラ、ソコヲ一ツ御伺シテ置キマス、ソレデスガ、今直グ御答ガ出來ナケレバ次會デモ宜ウゴザイマス、御答ガ出來レバ直グ……

○升田委員 ソレカラ今度ハ、此第十三條ノ二デスガ、新ニ入レラレタ十三條ノ二ニ二十日トアリマスルガ、是ハ如何ニモ日ガ短イヤウニ思フ、兎ニ角漸ク現役カラ歸ッテ來タ、或ハ召集解除ニナッテ歸ッテ來テ後ニ就職口ヲ探サニヤナラヌト云フヤウナ場合モアリマセウ、近頃ハ勿論職業紹介ナドデ、餘程内務省ヤ陸海軍省ハ、斯ウ云フ者ニ非常ナ同情ヲ與ヘテ戴イテ居リマスルガ、併シソレデモ職業ニ就カヌ者モ大分アルヤウデアリマス、殊ニ永ラク現役ニ服シ、又ハ應召ヲシテ居ル間ニ、多少體ノ疲レモ出テ來ル譯デスガ、同ジ此新シイ法ヲ御設ケニナレバ、二十日ト云フヤウナコトハ、餘リ是ハケチ臭イコトデハナイカ、先ヅ少クトモ一箇月位トシテ貰ヒタイ、マア私共ガ十分ヲ言ヘバ三箇月位ニシテ貰ヒタイデスガ、少クトモ一箇月位ニシテ戴キタイと思フノデスガ、其點ノ御考ハ如何デスカ

○川島委員長 陸海軍ニハソレダケデスカ——何レ後デ研究ノ上御答スルサウデスカ——松本君ハ海軍デスカ

○山崎政府委員 退營又ハ召集解除ノ日カラ二十日間ゴザイマスレバ、通常一應入營又ハ應召前ニ於キマスルト大體同様ノ状態ニ復スルモノト考ヘラレルノデアリマス、此期間ヲドノ位ニ定メルカト云フコトニ付キ

○松本委員 ナイデス

○山崎政府委員 退營又ハ召集解除ノ日カラ二十日間ゴザイマスレバ、通常一應入營又ハ應召前ニ於キマスルト大體同様ノ状態ニ復スルモノト考ヘラレルノデアリマス、此期間ヲドノ位ニ定メルカト云フコトニ付キ

マシテモ、先程色々御議論ハゴザイマシタケレドモ、陸海軍トモ御打合フシ、又社會事業調査會ニ於キマスル答申等モ參酌致シマシテ、斯ノ如ク決メテ譯デアリマス、此期間ガ餘リ長クナリマスルト、濫給ト云フヤウナ點モ考慮シナケレバナラヌト思ヒマスルシ、軍事扶助ノ精神カラ考ヘマシテ、此程度ノ期間ガ最モ適當デヤナイカト云フコトデ斯克定マッタ譯デアリマス

○升田委員 今度ハ少シ中間デ落シテ居リマシタカラ、第七條ニ關聯シタモノデアリマスルガ、救護ノ程度及方法ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムル詰リ命令デ之ヲ定メルト云フコトニナツテ居リマスルガ、是ハ過日ノ本會議デモ私が申シマシタ如ク、非常ニ救護ノ實際手續ガ煩瑣デアル爲ニ延ビルノデス、中々速ク許可シテ貫ヘナイ、ソレデ先程モ申シマシタヤウナ昭和六年乃至九年事件ノ時ナドモ、私ナドハ市役所、府廳ニ行キ、到頭社會局ニマデ行ッテ、其當時、丹羽君ノ時デシタガ、ソレカラ富田君モ居リマシテ、頼ンデ一ツ速ク何トカシテ府ノ方ヘヤカマシク言ッテ呉レ、區役所アタリハ實ハ困ッテ居ルノダト云フヤウナコトヲ言ッテ、社會局カラ御話下サツタ關係上、市モ、府モ留メテ居ッタ書類ヲ急ニ運

ンデ、一遍ニ今マデ停滯シテ居ッター——半年モ、七八箇月モ停滯シテ居ッタヤツヲ、僅カ一箇月ニ一箇月位前ノ分ト一緒ニ許可シナツタ例モアル、併シ是ハ色々聽イテ見ルト、役所ノ方デモ實際無理ノナイ所モアルノデス、色々調査セナケレバナラヌカラデス、今度ハ折角改正ヲシテ生活困難ノ者トシテ戴イタカラ、大分宜イノデスケレドモ、前ニハ絶對ニ生活不能ノ者デナクテハ助ケヌモノデスカラ、之ヲ調べルニハ容易ナコトデハナイ、今回ノヤウニ生活困難ト言ヘバ、一寸見テ直グ分リマスケレドモ、果シテ生活スルコト能ハザルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、是ハ餘程調査ヲセナケレバドウモ分ラヌ、ソレガ爲ニ色々方面デ御調査ニナツテ、手間ガ取レタ、郷里ヘモ紹介セナケレバナラス、例ヘテ見レバ國ニ財産ハ無イカ、或ハ其親戚ニ相當ノ者ガアリハシナイカト云フヤウナコト迄調べテ居ッタノデスカラ、是ハ已ムヲ得ナカッタ所デアリマスルガ、併シ斯ウ云フヤウナ弊害ハ、將來デモ困難ナル者ト云フコトニ付テモ、ヤハリサウ云フヤウナ研究ヲスルト云フト、相當ノ時目ヲ要スルコトニナリハセヌカト思ヒマスルガ、ソコデ私ハ是ハマア軍人ノ遺家族ニ、若クハ傷病兵ニ同情スルト云フコトデアリ

マスルカラ、假ニ地方長官ガ直接之ヲ行ハナクテモ、何カ監督ヲ十分地方長官ニシテ貰ヘバ、市町村長ニ之ヲ御任セニナツテモ、市町村長ガ之ヲ實行スル、サウシテ出願ニ依ラズニ、必要アリト認メル場合ニハ直グ其救護ノ手續ヲ開始スル、是ガ市町村長ノ職權デ出來ルト云フヤウナコトニ此法律ヲ改正シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ意見デアリマス、併シソレニ付テハ餘リ濫給ニ流レルト云フヤウナコトガアッテハイケマセヌカラ、十分市町村長ト雖モ責任ヲ以テヤルヤウナ、何カ多少之ヲ拘束スルヤウナ規定ヲ設ケテ戴キタイ、勿論地方長官ノ監督下ニ於テ之ヲ行フノデスガ、サウ云フヤウニシテ戴イタラドウカ、勿論市町村長ト申シマシテモ、六大都市ノ如キ區長ト云フ者ガアル處デハ、勿論其市長ノ職務ハ區長ガ行フト云フヤウニシテ戴イタラ迅速デ且ツ簡單ニ、調査ノ費用モ要セズニ、態府縣廳カラ田舎ノ村トカ或ハ島マデ行ッテ今日ハ調べテ居リマスガ、サウ云フ冗費モ省ケルコトデアルト思ヒマスガ、此點ニ關シテ當局ハ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ

○廣瀨政府委員 只今ノ問題ハ地方長官ノ仕事ヲ市町村長ニ任シタラドウカト云フ御意見デアリマスガ、是ハ御質問ノ中ニモアリマシタヤウニ、餘程考ヘナケレバナラス點ガアルト思ヒマス、御承知ノヤウニ、是ハ全額國庫ノ負擔デアリマシテ、他ノ救護法ノ場合ト違ッテ居ルノデアリマス、救護法ノ場合ニハ、一部分ハ市町村ガ負擔シテ居リマスシ、軍人ノ場合ニハ全部國デ負擔ヲ致シテ居ルト云フヤウナ關係カラ、矢張り國ノ機關デアル所ノ地方長官ヲシテ責任ヲ負ッテヤラセタイ、斯ウ思ッテ居リマス、此點ニ付テ御示シノ色々延延ヲスル或ハ煩瑣デアルト云フ點ニ付テハ、是ハ十分ニ吾々トシテ注意ヲ致シ、其弊ノナイヤウニ致サナケレバナラヌト思ヒマスガ、併シ仕事ハ矢張り國ノ機關デアル所ノ地方長官ヲシテ致サセタイト斯ウ思ッテ居リマス

○齋藤委員 一寸關聯シテ伺ヒタイ、第五條ノ「生活スルコト困難ナル者」之ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス、尤モ吾々ハ此法ノ恩惠ヲ受ケル人ガ一人デモ多イコトヲ望ミマスケレドモ、元來豫算ニハ制限ガアリマスカラ、各地方長官ガ生活困難ト云フコトニ付テ、大體ノ見當ガナケレバ取扱ガ區々ニナリハセヌカト思ヒマス、取扱者ノ心理状態ハ、矢張り一人デモ此法ノ保護ヲ受ケル者ガ多カラシコトヲ望ムノデアリマスカラ、ドウモ豫算ガ濫費ニ流レル、ドウシテモ生

活困難デアルト云フコトト、生活不能ト云フコトト、ハッキリ何カ一定ノ見當ヲ御示シニナラナケレバ、此法ノ執行ガ困難デハナイカト思ハレマス、之ニ關聯致シマシテ、先程社會局長官ガドナタヤラノ質問ニ御答ニナリマシタ中ニ、此扶助ヲ爲スト云フコト、或ハ扶助ヲ受ケルト云フコトハ權利デヤナイ、國家ノ義務デアルト云フコトヲ御答辯ニナツタ、私ハ能ク法律ノコトハ分リマセヌケレドモ、此法ノソレノ條件ニ該當致シテ居リマスナラバ、私ハ扶助ヲ受ケル權利ガアルト思フノデアリマス、況ヤ長官ノ御話デハ國家ノ義務デアルト云フコトデアリマスガ、其義務ニ對シテ權利者ガナクチヤナラヌ、私ハ斯様ナモノハ權利トシテ國家ニ要求スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ初メテ、此法ノ精神ガ活キテ來ルヤウニ思フノデアリマス、國家ガ恩惠ヲ施、ス或ハ助ケテヤル、サウ云フ意味デハナイと思フ、本當ニ國家ノ義務デアリマシタラ、ソレニ對シテ權利ヲ行フ者ガナケレバナラヌト思ヒマス、此二點ヲ關聯質問トシテ御尋フ致シマス

○**山崎政府委員** 第一點ハ「生活スルコト能ハサル者」ヲ「生活スルコト困難ナル者」ニ改メマシタ結果、是ノ認定ガ非常ニ難カ

シクナルト云フ御疑念デアッタヤウニ思フノデアリマス、生活困難ト改メマシタ結果救護ノ範圍ガ相當擴張サレマスコトハ、只今御話ノ通りダト考ヘルノデアリマス、此認定ニ付キマシテハ結局此救護ヲ行ヒマスル地方長官ガ、其被救護者ニ付キマシテソレノ調査ヲ致シマシテ、認定ヲスル外ハナイト考ヘルノデアリマスガ、唯非常ニ抽象的ナ言葉ダケデハ只今御話ノヤウニ濫給ノ心配モアルノデアリマシテ、其表示ニ付キマシテハ施行令等ニ於キマシテ相當考究ヲシテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

尙ホ軍事救護法ノ立前ニ付キマシテ先程社會局長官ヨリ本法ハ該當者ニ對シテ、權利ヲ認メタモノデハナイト云フ御話ガアッタノデアリマスガ、此法律ノ何レノ條文ヲ見マシテモ、又制定當時ノ沿革ヲ考ヘテ見マシテモ、此法律ハ此法律ノ各條文ニ該當スル者ニハ、直チニ本人ニ對シテ國家ニ對スル請求ノ權利ヲ認メルト云フコトニハ相成ッテ居ラヌヤウニ考ヘルノデアリマス、唯併ナガラ先程長官カラモ申シマシタヤウニ、是ハ軍人ノ遺家族ノ生活ヲ或ル程度見テ行クト云フコトニ相成ッテ居ル關係上、國家トシテハ是ガ救護ニ當ルニ付テハ義務ヲ

持ッテ居ルト云フ風ナ立前ニ從來カラ考ヘテ參ッテ居ルノデアリマス、法律ノ成文竝ニ施行令ノ何レヲ見マシテモ、只今申シマシタヤウナ立前ニ解釋スルコトガ適當デアルヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○**齋藤委員** 第七條ニ「扶助ノ程度及方法ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス、只今ノ御答辯ニ依ルト、ドウモ此勅令ヲ見ナケレバ吾々第五條ノ判斷ガ付キマセヌ、勅令ノ案ヲ直グ御提出下サルヤウニ委員長カラ政府ニ御要求ヲ願ヒマス、第二ノ點ヲモチットハッキリシテ置キタイト思フノデアリマス、只今政府委員ノ御答辯ニモ國家ノ義務デアルト斯ウ言ハレタ、是ハドウ云フ意味デ——或ハ法律語デ

タク通俗的ノ社會常識ノ言葉デ御話ニナツテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、苟クモ此救護法ト云フ法律ヲ論ズルニ當ッテ、國家ノ義務デアルト仰セニナル以上ハ、是ハ義務ニ對シテ權利者ガナケレバナラヌノデアリマス、而モソレヲ權利者トハッキリ認メルコトガ私ハ此救護法ノ精神ガ活キテ來ルヤウニ思フ、能ク御研究ヲ願ヒマス

○**堀内委員** 一寸關聯シテ伺ヒタイ、只今齋藤君カラ御質問ニナリマシタ其點ヲ私ハ伺ッテ見タイト思ッテ居リマス、此軍事救護

法ノ改正法ノ重點ハ其處ニ在ルト思フノデアリマス、從來軍事救護法ガ不完全ナリト云フコトヲ叫バレ、又救護ヲ受ケヨウトスル者カラモ、面目上サウ云フ法律デハ救護ハ受ケナイト云フヤウナコトデ遠慮シテ居ッタ向キモアルヤウデアリマス、是ハ前ノ方ノ「生活スルコト能ハサル者」ト云フ言葉ハ解釋ノ仕様ニ依ッテハ生キテ行ケナイノダ、假ニ米糧ニ一升米ガ殘ッテ居ルトスレバ、マダ生キテ居ル、其米ヲ食ッテ居ル内ハ生命ガアルト云フノデ救助シナイトモ言ヘル、ソコハ洵ニハッキリシテ居ルヤウニ思フ、ソレデモ尙ホ困ッテ救助ヲ受ケタ者ガ今日マデアルノデアリマスガ、今度ハ「生活スルコト困難ナル者」ト斯ウ直ッテ、困難ナル者ト云フ解釋ガ非常ニ難シイ、ドノ程度マデノモノデ、ドウ云フ者ヲ困難ナル者ト見テ之ヲ救助スルカ、此處ガ法律ノ一重點デアラウト思フ、他ノコトハ大概是デ十分ノヤウニ私共考ヘマス、要スルニ問題ハ兵役ニ從事シテ居ル者ノ家族ノ困ッテ居ルト云フ人ハ澤山アル、先日モ一寸私ハ本會議議デ申上ゲマシタガ、吾々ガ地方ノ狀況カラ考ヘテ見マスト、全體ノ七割位ハ困難ナル者ト看做シ得ルト私ハ思ヒマス、中々大變ナ數ニモナルノデアリマスガ、此困難ナル者

ト云フ解釋ガ非常ニ難シイ、ドノ程度マデノモノデ、ドウ云フ者ヲ困難ナル者ト見テ之ヲ救助スルカ、此處ガ法律ノ一重點デアラウト思フ、他ノコトハ大概是デ十分ノヤウニ私共考ヘマス、要スルニ問題ハ兵役ニ從事シテ居ル者ノ家族ノ困ッテ居ルト云フ人ハ澤山アル、先日モ一寸私ハ本會議議デ申上ゲマシタガ、吾々ガ地方ノ狀況カラ考ヘテ見マスト、全體ノ七割位ハ困難ナル者ト看做シ得ルト私ハ思ヒマス、中々大變ナ數ニモナルノデアリマスガ、此困難ナル者

ト云フコトハ地方長官ヲシテ扱ハシムルニシテモ、大體ドウ云フ程度ノ者デ、生活ノ状態ガドウ云フコトニナッテ居ルカ、餘裕ガドノ位アッテ、ドウ云フ所ダト云フ標準ガ決マラヌケレバ、是ハ中々地方長官ノ手心ナシゾ扱ハルベキモノデナイト思ヒマス、況ヤ町村長ナドニ調ベサセルナント云ウテ、一向調査ノ付クベキ筈ノモノデナイ、勅令ニ於テ能ク研究スルト云フ今ノ御答辯ノヤウデアリマシタガ、大體ドウ云フ方法ニシテ困難ナル者ト、困難ナラザル者トノ差別ヲ付ケルカト云フ、其處ノ分界ガ大體ハッキリ致シマセヌケレバ、此法律ヲ拵ヘテ却テ困ル、愈、此法律ヲ適用スル時ニ何處ガ困難デアルカ、一方ノ人ガ困難デアルト言ッテモ、イヤオ前ハ困難デナイト云フ、程度ノ問題デ非常ニ争ガ出来テ來ハシナイカト思フ、徹底充實スルト云フコトデアレバ、常識カラ考ヘテ困ッテ居ルヤウナ人ハ無論助ケテヤラナケレバナラヌト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、ドウモ法律デアルノデアリマスカラ、唯常識バカリデサウ考ヘル譯ニモ參リマセヌガ、勅令ニサウ云フコトヲ御決定ニナルト云フナラバ、大體ノ輪郭ダケデモ、此法律ヲ研究スル時ニ御示シテ戴カヌト、茲ガ一番大切ナ所ダ

ラウト思ヒマス、只今ノ齋藤君ノ質問ニ關聯シテ御尋ヲ致シマス
○山崎政府委員 只今ノ御質問ハ洵ニ適切ナ御尋ダト存ズルノデアリマス、從來ニ於キマシテモ御承知ノ通りニ軍事救護法ニ於キマシテハ、一般救護法ト同ジク「生活スルコト能ハサル者」ト云フコトニ、被救護者ノ範圍ガ限定ヲサレテ居ッタノデアリマス、併ナガラ救護ノ實際ニ當リマシテハ、一般救護法ナドトハ非常ニ其趣旨ヲ異ニシマシテ、救護費用ノ限度ニ於キマシテモ亦救護ヲ受ケマスル人ノ數ニ於キマシテモ、一般救護法トハ、非常ニ差異ガアッタ譯デアリマス、隨ヒマシテ現行法ニ於キマシテモ、一般救護法ト比較シテ考ヘテ見マシテモ、或ハ生活スルコト能ハズト云フコトガ適切デナイノデハナイカト云フコトモ、一應言ヘルヤウニモ思ハレルノデアリマス、併ナガラ段々御話ヲ申上ゲマスルト現行法ハ非常ニ足ラザル分モアルヤウニ思ハレマスノデ、今回其足ラザル部分ヲ種々考究ノ結果、改正案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、只今御話ノ生活スルコト能ハズト云フト、唯抽象的ニ申シテモ、ソレハ救護ノ實際ニ當ッテ非常ニ困難ナ場合ガ多カラウト云フ御話ハ洵ニ御尤ナ御話ダト考ヘルノデアリマス、先程齋藤サンノ御尋ニ申上ゲマシタヤウニ、是ハドウシテモ私共ト致シマシテモ、或程度標準ヲ示シマセヌト、地方長官ガ救護ノ實際ニ當リマシテ、種々困難ヲ來シマスルノデ勅令ニ依リマシテ費用ノ限度ヲ定メマシテ、其範圍ノ被救護者ヲ救護スルト云フ立前ニシタイト云フノデ、目下政府部内ニ於キマシテ種々考究ヲ致シテ居ル所デアリマス、費用ノ限度ヲ何處ニスルヤト云フコトニ付キマシテハ、今日明確ニ數字ヲ申上ゲルマデニハ至ッテ居リマセヌケレドモ、成ベク至急ニ相談ヲ纏メマシテ申上ゲルコトニ致シマス

ヤウニ其救護ノ施行ニ付テ缺點ガアレバ地方長官ガ是正スルト云フヤウナコトニシテ宜シイデスカラ、兎ニ角茲ニ例外規定ヲ設ケテ、此規定中ニ一時的ニ此救護ヲ施行サセルヤウナ規定ヲ以テヤララドウカト思ヒマス、ソレニ付テハ又別ニ御答辯ハ要リマセヌガ申上ゲテ置キマス

ソレカラ施行令ニ付テデスカ、先程私ノ尋ネマシタコトニ付テハ御答辯ガナカッタノデスカ、此出願主義ヲ改メテ、進ンデコテラカラ行ッテ此保護ヲスルト云フヤウナ規定ニ改メル意思ハアリマセヌカ、詰リ願出ト云フコトハ絶対ニ執ラヌデ願出ヲ俟タズシテ必要アル場合ニハ現在ノ施行令ノ例外規定ニナッテ居ルノヲ、本則トシテ救護ヲ實行スル、出願ナキ場合ト雖モ地方長官ガ之ヲ行フコトガ出来ルト云フノヲ立前トシタラドウカト云フ私ハ考ヲ持ッテ居リマス、其點ニ關スル御考ヲ伺ヒタイ

○堀内委員 ソレデハソレヲ拜見致シマス

○山崎政府委員 救護ノ手續ヲ迅速ニシナケレバナラヌコトハ只今御話ノ通りデゴザイマスルガ、其形式ト致シマシテ、出願ト、ソレカラ地方長官ガ自ら進ンデヤリマス手續ト、兩方ヲ認メルコトガ此救護ヲ受ケマス人ヲ漏ナク救護スルト云フ意味合ニ於キマシテモ必要ナコトノヤウニ考ヘルノデア

○升田委員 只今社會局長官カラ御話ガアッテ、私ハ續イテソレニ關聯シテ御伺スル積リデアッタノデスカ、中絶シマシタガ、若シサウ云フヤウナ社會局長官ノ御意見デアリトスレバ、少クトモ臨機ノ處置トシテ何カ市町村長ニ、或ル例外トシテ此權限ヲ與ヘテ、更ニ先程松本君カラモ御話ガアッタ

アリマス、先程齋藤サンノ御尋ニ申上ゲマシタヤウニ、是ハドウシテモ私共ト致シマシテモ、或程度標準ヲ示シマセヌト、地方長官ガ救護ノ實際ニ當リマシテ、種々困難ヲ來シマスルノデ勅令ニ依リマシテ費用ノ限度ヲ定メマシテ、其範圍ノ被救護者ヲ救護スルト云フ立前ニシタイト云フノデ、目下政府部内ニ於キマシテ種々考究ヲ致シテ居ル所デアリマス、費用ノ限度ヲ何處ニスルヤト云フコトニ付キマシテハ、今日明確ニ數字ヲ申上ゲルマデニハ至ッテ居リマセヌケレドモ、成ベク至急ニ相談ヲ纏メマシテ申上ゲルコトニ致シマス

○川島委員長 堀内君、齋藤君、一寸申上ゲマス、大體勅令ハ出来テ居ルヤウデアリマスガ、尙ホ研究ノ結果次會マデニ示スト云フコトデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○堀内委員 ソレデハソレヲ拜見致シマス

○山崎政府委員 救護ノ手續ヲ迅速ニシナケレバナラヌコトハ只今御話ノ通りデゴザイマスルガ、其形式ト致シマシテ、出願ト、ソレカラ地方長官ガ自ら進ンデヤリマス手續ト、兩方ヲ認メルコトガ此救護ヲ受ケマス人ヲ漏ナク救護スルト云フ意味合ニ於キマシテモ必要ナコトノヤウニ考ヘルノデア

○升田委員 只今社會局長官カラ御話ガアッテ、私ハ續イテソレニ關聯シテ御伺スル積リデアッタノデスカ、中絶シマシタガ、若シサウ云フヤウナ社會局長官ノ御意見デアリトスレバ、少クトモ臨機ノ處置トシテ何カ市町村長ニ、或ル例外トシテ此權限ヲ與ヘテ、更ニ先程松本君カラモ御話ガアッタ

アリマス、先程齋藤サンノ御尋ニ申上ゲマシタヤウニ、是ハドウシテモ私共ト致シマシテモ、或程度標準ヲ示シマセヌト、地方長官ガ救護ノ實際ニ當リマシテ、種々困難ヲ來シマスルノデ勅令ニ依リマシテ費用ノ限度ヲ定メマシテ、其範圍ノ被救護者ヲ救護スルト云フ立前ニシタイト云フノデ、目下政府部内ニ於キマシテ種々考究ヲ致シテ居ル所デアリマス、費用ノ限度ヲ何處ニスルヤト云フコトニ付キマシテハ、今日明確ニ數字ヲ申上ゲルマデニハ至ッテ居リマセヌケレドモ、成ベク至急ニ相談ヲ纏メマシテ申上ゲルコトニ致シマス

○川島委員長 堀内君、齋藤君、一寸申上ゲマス、大體勅令ハ出来テ居ルヤウデアリマスガ、尙ホ研究ノ結果次會マデニ示スト云フコトデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○堀内委員 ソレデハソレヲ拜見致シマス

○山崎政府委員 救護ノ手續ヲ迅速ニシナケレバナラヌコトハ只今御話ノ通りデゴザイマスルガ、其形式ト致シマシテ、出願ト、ソレカラ地方長官ガ自ら進ンデヤリマス手續ト、兩方ヲ認メルコトガ此救護ヲ受ケマス人ヲ漏ナク救護スルト云フ意味合ニ於キマシテモ必要ナコトノヤウニ考ヘルノデア

○升田委員 只今社會局長官カラ御話ガアッテ、私ハ續イテソレニ關聯シテ御伺スル積リデアッタノデスカ、中絶シマシタガ、若シサウ云フヤウナ社會局長官ノ御意見デアリトスレバ、少クトモ臨機ノ處置トシテ何カ市町村長ニ、或ル例外トシテ此權限ヲ與ヘテ、更ニ先程松本君カラモ御話ガアッタ

アリマス、先程齋藤サンノ御尋ニ申上ゲマシタヤウニ、是ハドウシテモ私共ト致シマシテモ、或程度標準ヲ示シマセヌト、地方長官ガ救護ノ實際ニ當リマシテ、種々困難ヲ來シマスルノデ勅令ニ依リマシテ費用ノ限度ヲ定メマシテ、其範圍ノ被救護者ヲ救護スルト云フ立前ニシタイト云フノデ、目下政府部内ニ於キマシテ種々考究ヲ致シテ居ル所デアリマス、費用ノ限度ヲ何處ニスルヤト云フコトニ付キマシテハ、今日明確ニ數字ヲ申上ゲルマデニハ至ッテ居リマセヌケレドモ、成ベク至急ニ相談ヲ纏メマシテ申上ゲルコトニ致シマス

○川島委員長 堀内君、齋藤君、一寸申上ゲマス、大體勅令ハ出来テ居ルヤウデアリマスガ、尙ホ研究ノ結果次會マデニ示スト云フコトデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○山崎政府委員 救護ノ手續ヲ迅速ニシナケレバナラヌコトハ只今御話ノ通りデゴザイマスルガ、其形式ト致シマシテ、出願ト、ソレカラ地方長官ガ自ら進ンデヤリマス手續ト、兩方ヲ認メルコトガ此救護ヲ受ケマス人ヲ漏ナク救護スルト云フ意味合ニ於キマシテモ必要ナコトノヤウニ考ヘルノデア

リマス、隨ヒマシテ今直チニ此手續ヲ一方
的ニ改メルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ

○升田委員 所ガ其例外ト云フモノハドレ
位アルカ、私ハ不幸ニシテ其例外ノ適用ト
云フモノハ殆ド聞イタコトガアリマセヌ
ガ、ソレニ付キマシテ次會マデニ其例外ニ
依ッテ救護サレタ所ノ人員及ビ其費用ノ點
ヲ御知ラセ願ヒタウゴザイマス

○山崎政府委員 此施行令ノ第一條ニ據リ
マスル手續ノ區別ニ依リマスル人員竝ニ金
額ハ調査シタモノガナイヤウニ考ヘマスノ
デ、折角ノ御要求デゴザイマスルケレド
モ、次會マデニ提出スルコトハ困難ドラウ
ト思ヒマス

○升田委員 ア、サウデスカ、ソレデハ仕
方ガアリマセヌガ、此點ハ非常ナ大キナ問
題ト思ヒマスカラ、次會ニ又機會ヲ得テ質
問スルコトニ致シマス、サウスルト私ハ是
デ質問ヲ打切りマスガ、先程申シマシタ第
三條ノ二號ノ中ノ「兵役ヲ免セラレタル者」
ト云フ點、是ハ今ノアナタ方ハ其當時居
ラシヤラナカッタカラ決シテアナタ方ノ
責任デヤナイ、其以前ノ方ノ責任デスカ
ラ、決シテソレヲ彼此レ咎メ立テラスル譯
デヤナイガ、是ハ能ク研究シテ戴キタイ、
是ハ一體單リ内務省バカリデヤナイ、斯ウ

云フ兵役關係ノコトナンゾハ其處ハ素人デ
スカラ、實際露骨ニ申シマスト、是ハ陸軍
アタリガ當時參加サレル時ニハ餘程之ヲ詳
シク申シテ置カスト、兵役免除ナント云フ
コトハ一寸専門外ノ人ニハ分ラナイ、一種
以上ノ兵役デドウシテ兵役免除トナルノカ
ト云フ御尋ガアッタ如ク、是ハ實際現役免
除ニナッタ者デ、日露戰爭アタリニハ戰爭ノ
爲ニ召集サレタ者ガ澤山アル、サウシテ再
ビ兵役ヲ免除サレタモノガ澤山居ル、サウ
云フ場合ニドチラヲ採ルカト云フコトハ此
中ニハ何モ書イテ居ナイ、又一種以上兵役
ヲ免ゼラレタト云フコトガ書イテアレバ何
モ争ハナイガ、ソレガナケレバドツチカ分
ラス、サウ云フコトモ將來戰爭ガ起レバ必
ズ問題ガ起ッテ來ル、ソレカラ第四條ノ三號
ハ十分御覽下サイ、ソレハ確カニ落チテ居
リマス、是ハ幾ラ繰返シテ何度讀ンデモ落
チテ居ル、是ダケ申上ゲテ置キマスカラ、
一ツ次會迄ニ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、私ハ是デ打切りマス

○川島委員長 御諮リ致シマスガ、兩案ノ
中北海道舊土人保護法中改正法律案ハ既ニ
質問ガ終結シタノデアリマスカラシテ、次
會ニ討論ト採決ヲ致シタイト思ヒマス、御
異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○川島委員長 デハサウ云フ風ニ致シマ
ス、次會マデニ政府ニ於カレマシテモ勅令
案ノ大體ダケデモ御申出ガアルヤウニ御願
致シマス、本日ハ是デ散會致シマス
午後四時四十三分散會